

●モノグラフ

## 小学生ナウ

Vol. 12-6

# 子どもと体験

## 目 次

|                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| 体験することと学ぶこと……深谷昌志                     | 2         |
| <b>〔調査レポート〕 子どもと体験</b>                | <b>7</b>  |
| 要約                                    | 8         |
| 調査概要                                  | 12        |
| はじめに                                  | 14        |
| 1. 体験の量                               | 15        |
| ●生活の中の体験                              | 15        |
| ●遊び・自然体験                              | 20        |
| ●人間関係の体験                              | 24        |
| ●新しい体験                                | 26        |
| ●情緒的な体験                               | 32        |
| 2. 体験のもつ意味                            | 35        |
| ●加算点スケール作成の方法                         | 35        |
| ●体験と子どもたちの情緒                          | 39        |
| ●体験と自己像                               | 43        |
| ●体験と将来の職業や生活への希望                      | 51        |
| ●まとめに代えて                              | 59        |
| <b>〔対談〕 自然体験を子どもたちに……藤本和典 vs 深谷昌志</b> | <b>63</b> |
| 資料1 調査票見本                             | 71        |
| 資料2 基礎集計表                             | 82        |
| 資料3 調査票見本および集計結果（学校用）                 | 92        |

\*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

# 体験することと 学ぶこと

静岡大学教授  
深谷昌志

## 地域の中で子どもは育った

現在では教育という用語に、当然のことながら、学校教育を連想する。たしかに視野を日本に限っても、近代化の過程の中で学校が大きな足跡を残し、人々の間に学校教育についての信頼が定着し、子どもの人間形成といえ、学校教育がイメージにうかんでくる。

しかし、学校が庶民教育機関としての地位を確立したのは、日本では明治30年代の初めで、それから1世紀近く経たにすぎない。そして欧米でも、義務教育の定着は通常考えるよりも遅れて、19世紀へ入ってからの場合が多い。つまり、人類が誕生して以来の子どもの歴史を考えると、そうした長い歩みの中で通学というスタイルが一般化したのは、ごく近年の現象ということにもなる。そうした学校教育が成立した要因としては、まず近代国家が誕生して、庶民の子どもには国民意識を植えつける必要が生じた。あるいは宗教的な対立の中から、宗教の教義を底辺まで浸透させようとする気運が強まった。そして産業革命の進展につれて、労働者にも読み書き能力

の習得が望まれ始めた。さらに生活水準が相対的に向上して、子どもの労働力をすぐにあてにする必要性が薄れてきたなどの要因が重なり合って、学校教育が誕生する。

より具体的には、国家や宗教、産業などの条件がどのようなものであるかによって、その国らしさを伴った学校が生まれる。

しかし、いずれにせよ、学校は読み書き算数に象徴されるような基本的な知識や技能を効率よく伝達する場として発展してきた。高等教育と異なり、庶民の教育では大量の学習者をかかえる。しかも、そうした子どもたちにできる限り無駄なく、しかも安いコストで基礎学力をつけようとする。そこから学級を単位とした一斉授業で知識を注入するという学校教育の授業形態が登場してくる。

そのさい忘れてはならないのは、子どもの生活の中で学校は、いわば新参者であった。換言するなら、子どもたちは、学校とは別のしっかりとした世界を持っていたという事実であろう。

具体例を地域での暮らしに求めてみる。子どもたちは、まず、ままごと遊び集団のメン

バーとして登場してくる。家のまわりで、何人かの幼い仲間とごっこ遊びをする集団である。その後、小学校へ入る頃から行動半径を広げて、家の付近で鬼ごっこやかくれんぼをする遊び仲間を作る。

もっとも、かつての子どもたちは、農作業や子守、家事の手伝いなどの労働の中に身を置いていたから、現在考えるほど遊び時間を持っていなかった可能性が高い。

しかし、そうした労働の合い間に、毎日顔を合わせて、群れをなしての遊びに興じたのであろう。

そうした仲間をギャング集団とよぶのは周知の通りだが、小学校を終えると、子どもたちはギャング集団を卒業して、村を単位として作られる若衆組や娘組（娘宿）のメンバーとなる。そして、村人としてきまりや農作業の技術などを身につける。

もちろん、若衆組はすでに明治30年代から崩れ始め青年団の形へと変質するが、その青年団も現在では消滅に近い状況下にある。

そうした変遷はともあれ、ままごと遊び仲間から出発してギャング集団へ入り、そして若衆組、あるいは青年団へ帰属するというように、成長するにつれて、より範囲の広い大きな集団に身を置きながらおとなとなっていくのが、古来からの成長のスタイルであった。

考えてみると、ままごと遊びは地域に根をおろした幼稚園、ギャング集団は小学校、若衆組は中学校に感じが近い。しかもこうした地域を基盤とした自然の学校は、学校教育以前から存在していたのである。

もっとも、ギャング集団などを学校とよぶのには異論が生じてこよう。しかし、そうした遊び仲間が子どもたちの人間形成にどのような意味を持っていたのかを考えていくと、現代の学校と異なるにせよ、遊び仲間にも似た機能を伴っていたという感じがする。

たしかに、ギャング集団は鬼ごっこやチャンバラごっこなどの遊びに興じる群れであるから、常識的に考える意味では、学校とはいいがたい。しかし遊び仲間とのふれあいを通

して、子どもたちが身につけたものは多い。したがって、遊び仲間には教師も、そして教科書もないが、人間形成という意味では、いわば自然の中で体験を通して学ぶ学校であった。

ギャング集団は名前の通りに、友だちと群れをなして遊ぶ。そうしたつき合いの中から、弱い者いじめをするな、けんかをするときは素手で、インチキは身の破滅、話し合いでかたのつかないときはじゃんけんの結果にしたがう、勝ち逃げは駄目、敗けても泣くななど、人間関係に限ってもさまざまなルールを身につけていく。つまり、人間関係の持ち方をいつの間にか習得していく。

もちろん、この他にもギャング集団には、

- ① 体が丈夫になる
- ② 手足などの器用さが増す
- ③ 創造性が芽ばえる
- ④ やる気が伸びる
- ⑤ 精神的に安定する
- ⑥ 知的に開発される

などの多面的な効用を見いださう。かくれんぼに例を求めると、かくれているうちに体が丈夫になり（①）、人とは違うところにかくれるので創造性が増し（③）、じっとかくれているうちにやる気が育つ（④）というあんばいである。

### 育つと教えるとのアンバランス

このように、子どもたちは地域の中で生まれ、さまざまな集団に身を置き体験を重ねながら成長していった。その子なりのペースで、自然の形で育っていったのである。

しかし地域の中での仲間は、ギャングの名前が示す通り、時には、というよりしばしば、逸脱行動へ走りがちであった。冷静になってふり返ってみると、かつての遊びに悪のかおりがただよっていたのに気づく。トンボの尾をとって、ムギワラをさしこむ。釣った魚の腹をふくらませてよろこぶ。時には西瓜泥棒をして、みんなで食べる。あるいは集団で万引きをするなどが、その一例である。

つまり、遊び仲間へ参加してさまざまな特性を身につけた反面、子どもたちは逸脱へ走りがちに危険性をはらんでいた。そうしたときに、基礎的な知識や技能を伝達するだけでなく、望ましさを伝達するのが学校の役割であった。教師がおとなの権威を代弁して望ましさを基準に子どもをしつけていくのであるから、学校は当然のことながら、望ましさにあふれてくる。

やや図式的なとらえ方をするなら、

| 集 団  | ギャング集団  | 学 校         |
|------|---------|-------------|
| 営み   | 遊び      | 学び          |
| 働き   | 人間性を育てる | 望ましい知識をおぼえる |
| 行為の型 | 自主的     | 受容的         |
| 短所   | 逸脱      | 型にはめる       |

のように、学校と遊び仲間との関係を対比してとらえることも可能であろう。

もちろん、こうした対比は学校と地域社会に限った場合であって、この他に家庭が人間形成に及ぼす役割も無視できない。というより子どもたちは、まず家庭の中で育つのであって、家庭と比べれば地域の影響力などは小さいといわざるをえない。

「山びこ学校」は、戦後を代表する優れた実践記録だが、現代になって読みかえすと、子どもの生活を伝えるドキュメントでもある。

「僕の家は貧乏で、山元村の中でもいちばん貧乏です」で始まる江口江一の「母の死とその後」もその一例だが、その他にも、

「今年は働く人がたりなくて、仕事がかいかないので、私はたびたび学校を休まなければなりません。 川合ハマ子」

「昨日、ミハルさんとおサメちゃんと蕨売りに行く約束をしたので、昨日とってきた蕨をそろえてたばにし、いつでも背負って行かれるように準備をして待っていた。 小笠原弘子」

などの作文がみられる。

この「山びこ学校」と同じ頃、つまり昭和20年代の後半は、山村の子どもたちの生活を

分析した「イリの村の生活と子ども」(文部省、昭和29年)は、子どもたちが平日で2時間、休日は6～8時間、農作業に従事しているデータを紹介したのち、

「休日のこどもの生活は働くために仕事のために生きているも同様である。このような労働参加は子どもの遊びや学習や自由な時間に大きな影響を与えているのである」

のような問題指摘を行っている。

日本青少年教育研究所の「児童生活の実態」(朝倉書店、昭和18年)は、昭和10年代の子どもの生活を克明にあとづけた資料集だが、この調査には、子どもたちが毎日、平日で1時間6分、休日で2時間29分を家事手伝いに費やしているとのデータがもりこまれている。

家庭というと、現代では子ども部屋へ入って勉強するか、それともテレビを見るかという生活がかんてくる。しかし長い間、家庭は子どもにとっても生活の拠点であり、そうした中でさまざまな家事を手伝いながら、子どもたちは成長していった。

ちなみに、現代の子どもたちは中学生や高校生を含めて、「自分の食器を流しへ持っていく」を除くと、家事手伝いらしいものをほとんど行っていない。「ご飯ですよ」とよばれて食卓につくと、自分の好物が並んでいる。それを食べ、「ごちそうさま」を言って、食器を流しへ運んだ後、ふたたび自分の部屋へ戻って、マンガのページを開くという生活である。したがって、家庭生活の中で子どもたちは、さまざまな体験を重ねることなく成長していく。

地域の中に遊びの群れがあり、そして家庭の中に生活の基盤がある。そうした体験の場があるのが前提となって、抽象的な知識を能率よく伝達する場としての学校が存在していた。そして長い間、地域や家庭での生活は崩れることがないと信じてきた。

しかし、すでにふれたように、現代の子どもたちは生活の中で育つ機会を失って、教えられだけの生活を送っている。そう考えて



みると、現代の家庭は子どもが生活するというより、子どもがしつけられる、つまり親から行動の善し悪しを教えこまれる学校的な性格を強めている。

### 体験の持つ意味の見直しを

このように、学校教育の成り立つ前提としての生活の場が地域や家庭から失われ、子どもたちが自然な形で育ちにくくなりつつあるというのが、現代の教育をとりまく基本的問題であろう。

そのため、子どもが育つとはどんな過程をたどるのかを改めて考え直す必要が生じている。基本的な生活習慣の形成といえば幼児期を対象としたもので、児童期以降は不要と考えられてきた。放っておいても地域や家庭を通して、そうした習慣を身につけていったからである。

しかし現代の子どもたちのように、えんぴつをつけずれない、リンゴの皮をむけない、はだして歩くのをいやがるなどの状況を見ると、育つ過程を洗い直し、奇妙なことではあるが、地域や家庭が生活の場としての機能を取り戻すまでの間、そうした育つ過程の要素をとり出して、それらの体験を積みせる必要性が生じてくる。

子どもたちのこうした状況は、なんとなくプロイラーを連想させる。プロイラーは経済的な効率を考慮して飼育システムの改良を加えて、現在にいたった。しかし皮肉なことに、そうした効率化がゆきすぎて、トリとしての特性に歪みが生まれ始め、最近では、ふたたび飼育のシステムを自然の状況へ戻す動きが強まっているという。

それと同じように、子どもたちにとっても、自然の中での成長のスタイルをとり戻すことが望まれている。もっとも、成長する過程の

体験は、これまで当然身につけていくものと考えられてきたので、皮肉なことにそうした成長について考察した文献はあまり多くはない。

しかし、柳田国男の「小さき者の声」や江馬三枝子の「飛騨の女たち」の、あるいは宮本常一の「家郷の訓え」などの民俗学の資料に、現在になると示唆に富むものが少なくない。

また現在では、古典的な扱いをうけ、新鮮さに乏しいと考えられがちなゲセルマジャーシルド・ハビガーストなどの発達心理学の著作からも学べるものが多い。もちろん、それらにピアジェやエリクソンなどを加えて、発達課題についての枠組みを設定するのも可能であろう。

いずれにせよ、こうした体験の乏しさのもたらす歪みは、地域や家庭の変容が引き金となっているだけに、学校だけの努力では問題解決を期しがたい。

子どもの人間形成にかかわりを持つ人たちが協力し、それぞれの役割を明確にして、課題にとりくむ態度が望まれよう。つまり、子どもの成長をトータルとしてとらえ、成長を促す役割を地域と家庭と学校とで分け合うシステムである。

もちろんこうした状況は、それぞれの地域で様相を異にしている。したがって地域を単位として、子どもの成長をとらえる角度が必要となる。かつての地域社会学校は、学校の立場から地域をとらえていた。そうした意味では、地域を母体として、その中に学校をも位置づける地域的教育計画の必要性が感じられるが、そのためにもまず、子どもたちの体験そのものがいかに失われたのかを明らかにしていくことが重要となろう。



〔調査レポート〕

# 子どもと体験

|               |      |
|---------------|------|
| 静岡大学教授        | 深谷昌志 |
| 杉並区立杉並第六小学校教諭 | 土橋 稔 |
| 川村学園女子大学教育学部  | 井上 健 |
| 埼玉県立小川高校教諭    | 三枝恵子 |
| 目黒区立不動小学校教諭   | 矢部 崇 |
| 横浜市立鳥が丘小学校教諭  | 戸塚 智 |
| 練馬区立大泉第六小学校教諭 | 鶴巻景子 |



# 調査レポート 子どもと体験 要約

1. 日常生活の体験では、「生卵を割ったことがある」「マッチで火をつけたことがある」「かなづちでクギを打ったことがある」体験をしている子は約8割、それ以外の項目の体験量は少ない。

一方、「外国人と話をした」「ハンバーガー屋さんで友だちと食事をした」など、子どもたちの生活の中に新しい体験が入ってきている。(図1)



2. 商業地域に「夜、12時頃まで起きていた」「外国人と話をした」「夜食を食べた」など、子どもたちの生活の変化がより強くみられる。(表1)



3. お手伝いの体験では、「食器を並べたり片づけたりした」(78.2%)、「ゴミ捨てにいった」(67.3%)、「お風呂に水を入れた」(66.2%)など、ほとんどの項目で5割を超える多くの子どもがお手伝いをしている。(図2)



4. 遊びの体験では「テレビゲーム」「テレビやマンガ」などの室内遊びがトップで、「暗くなるまで外で遊ぶ」「どろんこ遊び」などの外遊びの割合が低く、子どもたちの遊びは室内で身体を動かさない遊びが主流となっている。(図3)



5. 自然の体験では、「泳いだり」「虹を見たり」「草むしりをしたり」という体験が「何回もある」子が4割、「わりとある」を含めると8割。また、「フィールドアスレチックに行ったことがある」という体験をしている子は6割、「木のぼりをしたこと」とほぼ同様であり、自然体験の仕方に変化がみられる。(図4)

6. 「近所の人へのあいさつ」をはじめ、人間関係の体験が少ない。(図5)



7. 「テレホンカードを使う」「ビデオの録画をする」「電卓で計算する」など、新しい体験をする子が7割。子どもたちの生活にその使用が定着しているようすがみられる。(図6)

8. 勉強の体験では、塾やおけいこごとに行っていない子のほうがめずらしい。(図7)

要約

9. 文化的な体験では、「バイオリンやピアノを弾いたことのある」子は「わりとある」を含めると約5割。「美術館や水族館に行ったことのある」子は6割。「盆踊り」や「おみこしをかつぐ」など昔からの行事への参加もほぼ4～5割の子が体験している。(図8)



10. 「かぜ薬」「栄養剤」「胃の薬」など、子どもたちの薬を飲む量の多さが注目される。(図9)



11. 「悲しい」「はずかしい」「死にたいほどいやな気持ち」など、情緒的に不安定な体験をもつ子が1～2割。(図10)

12. 「人間関係」など多様な体験を積むことによって、困難にあってもその厳しさに耐えたり、自らの力で解決することができる。(表12・13、図11・12)

13. 「遊び」「自然」「人間関係」の体験が豊かな子どもは、自分自身に自信をもち、精神的にタフになり、問題を解決する能力も高い。(表14、図13・16～21)



14. 豊かな体験をもつ子どもは、家族関係も密で、学校生活も楽しく、意欲的な生活をしている。(表14、図13～21)

15. 「人間関係」「自然」の体験の多い子どもは、将来の生活への希望を強くもち、社会的達成意欲も強い。(表16、図22～27)

16. 社会環境の変化につれ、子どもたちの体験のありようも変化する。現代社会は、子どもたちが多様な体験を主体的に選択できる可能性も秘めているといえる。それ故、子どもをとりまく環境をどう整備し、体験の総量をどう増やしていくかが課題ではないだろうか。



---

## ■ 調査概要

1. 調査主題 子どもと体験
2. 調査視点 近年、子どもたちの生活圏が狭くなり、直接体験が減少し、情報化社会の発展にともない、間接体験が増大している傾向にあるといわれている。そこで、全国調査により、子どもたちの体験の実態を多角的にとらえ、構造的に分析することを試みた。
3. 調査項目 「生活」「お手伝い」「遊び」「自然」「人間関係」「メカ・メディア」「勉強」「文化」「情緒」「病気・ケガ」の10領域の体験についての体験量、都市と郡部との地域差、体験が子どもの自己像や将来の見通しに与える影響について、など。
4. 調査時期 1992年6月～7月
5. 調査対象 全国70校に通う小学6年生
6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査
7. サンプル数 各都道府県ごとに50分の1の小学校を無作為に抽出して調査依頼をし、回答のあった70校の小学6年生2,184人（男子1,125人・女子1,059人）。

(人)


| 学年/性 | 男子    | 女子    | 計     |
|------|-------|-------|-------|
| 6年   | 1,125 | 1,059 | 2,184 |

## 各地方ごとの調査サンプル

| 地方  | 県   | 調査校数 | 地方  | 県   | 調査校数 |    |
|-----|-----|------|-----|-----|------|----|
| 北海道 | 北海道 | 2校   | 近畿  | 滋賀  | 1校   |    |
| 東   | 青森  | 3校   |     | 京都  | 0校   |    |
|     | 岩手  | 5校   |     | 大阪  | 0校   |    |
|     | 宮城  | 1校   |     | 兵庫  | 1校   |    |
| 北   | 秋田  | 2校   |     | 奈良  | 0校   |    |
|     | 山形  | 2校   |     | 和歌山 | 1校   |    |
|     | 福島  | 3校   |     | 中   | 鳥取   | 0校 |
| 関   | 茨城  | 2校   |     |     | 島根   | 2校 |
|     | 栃木  | 3校   |     |     | 岡山   | 3校 |
|     | 群馬  | 1校   |     | 広島  | 1校   |    |
|     | 埼玉  | 0校   | 山口  | 3校  |      |    |
| 東   | 千葉  | 1校   | 四国  | 徳島  | 2校   |    |
|     | 東京  | 1校   |     | 香川  | 2校   |    |
|     | 神奈川 | 2校   |     | 愛媛  | 1校   |    |
| 中   | 新潟  | 2校   | 高知  | 高知  | 2校   |    |
|     | 富山  | 3校   |     | 九州  | 福岡   | 0校 |
|     | 石川  | 1校   |     |     | 佐賀   | 1校 |
|     | 福井  | 1校   | 長崎  |     | 0校   |    |
|     | 山梨  | 2校   | 熊本  |     | 0校   |    |
|     | 長野  | 1校   | 大分  |     | 0校   |    |
|     | 岐阜  | 3校   | 宮崎  |     | 1校   |    |
|     | 静岡  | 3校   | 鹿児島 |     | 3校   |    |
| 愛知  | 2校  | 沖縄   | 0校  |     |      |    |
| 近畿  | 三重  | 0校   | 合   | 計   | 70校  |    |

\*調査対象は、各都道府県ごとにほぼ50分の1の小学校を無作為に抽出して調査票サンプルを送り、調査協力を依頼。

---



## はじめに

子どもたちは、家族・学校・地域社会において様々な体験を積み重ね、いろいろなことを学びながら成長するものである。しかし、遊び場の減少、地域の遊び集団の崩壊など子どもたちの生活圏が狭くなり、直接体験は減少していると言われている。そしてその一方で、いわゆる情報化社会の進展に伴い、間接体験が増大している傾向があることが指摘されている。

そこで、今回の調査では、調査対象を全国に広げ、次のような点について明らかにしようとした。

1. 不足している体験、十分な体験、失われつつある体験、新しい体験、核となる体験とはどのようなものか。
2. 都市部と郡部とでは、子どもの体験にどんな地域差があるか。

3. 体験は子どもの自己像や、将来の見通しにどんな影響を与えるのか。

4. 子どもの体験を左右するものは何か。  
そして、子どもたちの体験の実態と意味をできるかぎり構造的に捉えようと、「体験」を以下の10領域に分類し考察を加えた。

1. 生活の体験
2. お手伝いの体験
3. 遊びの体験
4. 自然の体験
5. 人間関係の体験
6. メカ・メディアの体験
7. 勉強の体験
8. 文化の体験
9. 情緒の体験
10. 病気・ケガの体験



# 1. 体験の量



## ●生活の中の体験)))

まず、子どもたちの日常の生活の中からどんな体験をしているかを見ていこうとしたものが図1である。「何回もある」と「わりとある」をたして全体の傾向を見てみると、「生卵を割ったことがある」「マッチで火をつけたことがある」「かなづちでクギを打ったことがある」は、約8割の子どもたちが体験している。しかし、それ以外の項目は概して体験量が少なく、例えば、「リンゴの皮をナイフでむいたこと」は半数、「たき火をしたこと」は3割にとどまっている。

その一方で、「外国人と話をしたこと」「ハンバーガー屋さんで友だちと食事をしたこと」「給食になってもおなかがすかなかったこと」などでは約3割の子が。また、「1人で夕ごはん

を食べたこと」では2割の子が「何回も+わりとある」と答えており、子どもたちの生活体験の変容が推測される結果である。

そして、その生活体験を地域別にクロスしてみたものが表1である。表中最大値に○印、最小値に—印、特に最大値と最小値の差が10%以上あるものには□印をつけてあるが、「夜、12時頃まで起きていた」「外国人と話をした」「夜食を食べた」など、子どもたちの生活の変化が、商業地域により強く表れているようすがうかがえる。

図2は、生活の便利さと共に非常に少なくなってきたと言われている、お手伝いの体験を尋ねたものである。「わりとある」を含めた数値を追っていくと、「食器を並べたり

片づけたりした」(78.2%)、「ゴミ捨てにいった」(67.3%)、「お風呂に水を入れた」(66.2%)、「お風呂の掃除をした」(58.1

%)など、当初の予想とは違って、ほとんどの項目で半数を超える多くの子どもたちがお手伝いをしているという結果であった。

図1 生活の体験

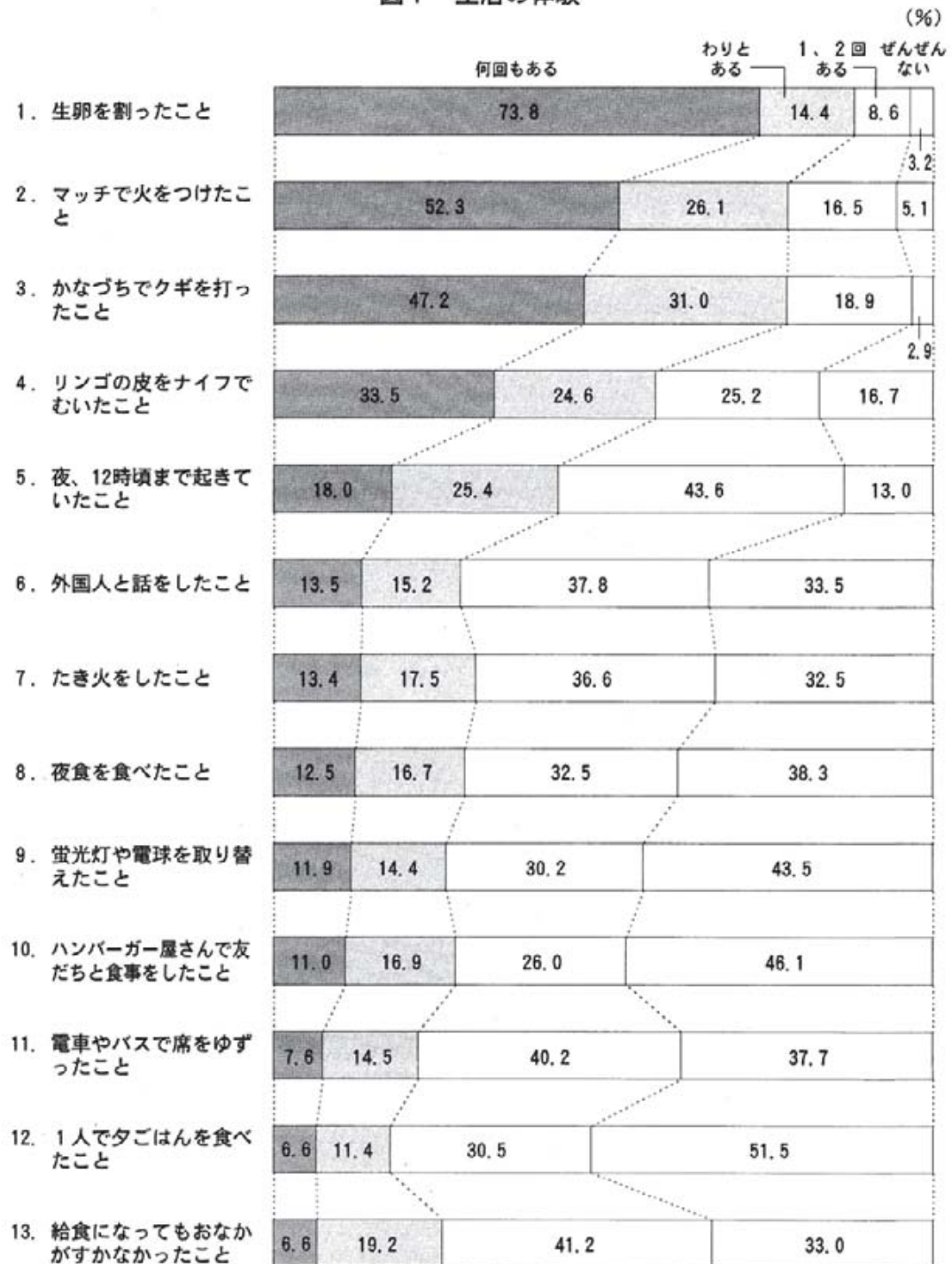


表2により地域差を見てみると、農業地域でお手伝いの割合が全体的に低くなっていることがわかる。これは、農業地域の祖父母と

の同居率の高さ（今回の調査では、祖母との同居48.0%、祖父との同居34.0%であった）によるものと思われる。

表1 生活の体験 × 地域

(%)

|                           | 古くからの住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------------|----------|-------|------|------|
| 1. 生卵を割ったこと               | 83.9     | 85.7  | 88.1 | 89.5 |
| 2. マッチで火をつけたこと            | 82.4     | 75.9  | 77.6 | 80.2 |
| 3. かなづちでクギを打ったこと          | 78.2     | 79.1  | 73.0 | 81.7 |
| 4. りんごの皮をナイフでむいたこと        | 62.0     | 52.7  | 57.5 | 59.2 |
| 5. 夜、12時頃まで起きていたこと        | 42.8     | 36.1  | 51.8 | 36.9 |
| 6. 外国人と話をしたこと             | 24.2     | 34.1  | 36.1 | 20.3 |
| 7. たき火をしたこと               | 30.2     | 26.6  | 31.6 | 35.5 |
| 8. 夜食を食べたこと               | 30.1     | 25.1  | 30.7 | 29.0 |
| 9. 蛍光灯や電球を取り替えたこと         | 31.0     | 25.4  | 23.3 | 24.5 |
| 10. ハンバーガー屋さんで友だちと食事をしたこと | 27.1     | 34.7  | 28.6 | 25.3 |
| 11. 電車やバスで席をゆずったこと        | 27.0     | 26.7  | 17.4 | 13.8 |
| 12. 1人で夕ごはんを食べたこと         | 19.9     | 16.8  | 18.9 | 16.9 |
| 13. 給食になってもおなかがすかなかったこと   | 26.4     | 24.4  | 28.0 | 23.4 |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

○ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの



図2 お手伝いの体験

|                     | (%)   |       |            |            |
|---------------------|-------|-------|------------|------------|
|                     | 何回もある | わりとある | 1、2回<br>ある | ぜんぜん<br>ない |
| 1. 食器を並べたり片づけたりすること | 45.5  | 32.7  | 16.7       | 5.1        |
| 2. 1人で留守番をすること      | 43.5  | 26.8  | 22.3       | 7.4        |
| 3. お風呂に水を入れること      | 41.4  | 24.8  | 20.2       | 13.6       |
| 4. お使いに行くこと         | 38.9  | 30.4  | 23.3       | 7.4        |
| 5. ゴミ捨てに行くこと        | 36.5  | 30.8  | 24.4       | 8.3        |
| 6. ほうきではくこと         | 36.3  | 29.9  | 24.9       | 8.9        |
| 7. お風呂の掃除をすること      | 35.0  | 23.1  | 23.1       | 18.8       |
| 8. 料理を作るのを手伝うこと     | 33.3  | 30.4  | 24.9       | 11.4       |
| 9. 新聞を取ってくること       | 32.6  | 30.4  | 24.3       | 12.7       |
| 10. ぞうきんで掃除をすること    | 32.6  | 28.5  | 28.5       | 10.4       |
| 11. 洗濯物を取りこむこと      | 29.6  | 30.8  | 26.9       | 12.7       |
| 12. お米をとぐこと         | 27.4  | 21.1  | 29.3       | 22.2       |
| 13. 靴みがきをすること       | 9.5   | 13.8  | 30.0       | 46.7       |

表2 お手伝いの体験 × 地域

(%)

|                     | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. 食器を並べたり片づけたりすること | 81.3         | 80.4  | 79.7 | 72.1 |
| 2. 1人で留守番をすること      | 70.2         | 74.9  | 69.4 | 65.8 |
| 3. お風呂に水を入れること      | 70.5         | 65.5  | 64.9 | 63.8 |
| 4. お使いに行くこと         | 76.3         | 65.5  | 73.2 | 59.4 |
| 5. ゴミ捨てに行くこと        | 71.2         | 71.2  | 66.0 | 59.0 |
| 6. ほうきではくこと         | 67.1         | 65.0  | 67.5 | 66.8 |
| 7. お風呂の掃除をすること      | 61.1         | 56.8  | 56.7 | 57.6 |
| 8. 料理を作るのを手伝うこと     | 63.1         | 64.6  | 61.9 | 63.7 |
| 9. 新聞を取ってくること       | 67.2         | 64.9  | 60.5 | 59.4 |
| 10. ぞうきんで掃除すること     | 62.1         | 60.6  | 61.7 | 60.4 |
| 11. 洗濯物を取りこむこと      | 61.9         | 65.2  | 59.0 | 57.6 |
| 12. お米をとぐこと         | 50.1         | 51.8  | 45.2 | 43.3 |
| 13. 靴みがきをすること       | 23.8         | 27.6  | 17.9 | 22.4 |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

◯ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

## ●遊び・自然体験))

遊びの体験については、これまでも様々な調査で子どもたちの外遊びの少なさが指摘されている。そして、今回の全国調査でも図3が示すように、「テレビゲーム」「テレビやマンガ」といった室内遊びの代表が、子どもたちの遊びのトップにきている。そしてその一方で、「真っ暗になるまで外で遊ぶ」(「わり

とある」を含めて31.0%)、「どろんこ遊び」(20.2%)など、昔ながらの外遊びの割合は低く、室内で身体を動かさない遊びが子どもたちの遊びの主流になりつつあるようだ。

また地域別には、表3が示すように農業地域で「カブトムシやカエルをつかまえたり」「真っ暗になるまで外で遊ぶ」といった割合

図3 遊びの体験

|                          | 何回もある |      | わりとある |  | 1、2回<br>ある |  | ぜんぜん<br>ない |  |
|--------------------------|-------|------|-------|--|------------|--|------------|--|
|                          |       |      |       |  |            |  |            |  |
| 1. テレビゲームで遊ぶこと           | 50.7  |      | 26.6  |  | 12.9       |  | 9.8        |  |
| 2. 一人でテレビやマンガを見て遊ぶこと     | 41.4  |      | 35.6  |  | 17.3       |  | 5.7        |  |
| 3. 年の違う子とスポーツやおにごっこをすること | 31.8  |      | 31.7  |  | 26.8       |  | 9.7        |  |
| 4. カブトムシやカエルをつかまえること     | 17.5  | 20.8 | 27.3  |  | 34.4       |  |            |  |
| 5. 子どもたちだけでデパートや映画に行くこと  | 14.6  | 20.8 | 31.6  |  | 33.0       |  |            |  |
| 6. ゲームセンターに行くこと          | 12.1  | 18.2 | 30.8  |  | 38.9       |  |            |  |
| 7. 真っ暗になるまで外で遊ぶこと        | 11.3  | 19.7 | 39.4  |  | 29.6       |  |            |  |
| 8. 自分(仲間)だけの秘密の場所を持つこと   | 9.9   | 12.5 | 28.3  |  | 49.3       |  |            |  |
| 9. どろんこ遊びをすること           | 5.9   | 14.3 | 33.7  |  | 46.1       |  |            |  |
| 10. 「ままごと遊び」などをすること      | 4.3   | 6.3  | 19.1  |  | 70.3       |  |            |  |



が高い。しかしその一方で、「1人でテレビを見る」や「ゲームセンターに行く」などの割合も高くなっていることが注目される。

次の図4は、外遊びの体験と同様に子どもたちの世界から少なくなりつつある体験とされている自然体験が示してある。

当初予想していたよりは、自然体験をもつ子どもが多く、「泳いだり」「虹を見たり」「草むしりをしたり」という体験が、「何回もある」子が4割、「わりとある」も含めると8割にも達する。しかし、よく見ていくと「木

のぼりをしたこと」とほぼ同様な数値で「フィールドアスレチックに行ったことがある」というように、自然の体験の仕方にもやや変化があるように思われる。

これを地域別に見た表4からは、やはり自然の多く残っている農業地域に自然体験が多くなっていることが読み取れる。しかし、その差は思っていたほどではなく、「木のぼり」や「どろんこになって転げまわる」などでは、住宅地の子どもたちの体験のほうが多くなっている。

表3 遊びの体験 × 地域

(%)

|                          | 古くからの住宅地    | 新興住宅地       | 商業地域        | 農業地域        |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. テレビゲームで遊ぶこと           | <u>77.0</u> | 77.3        | 77.4        | (77.5)      |
| 2. 1人でテレビやマンガを見て遊ぶこと     | 77.9        | <u>74.1</u> | 78.8        | (79.2)      |
| 3. 年の違う子とスポーツやおにごっこをすること | 62.4        | (67.9)      | <u>60.6</u> | 64.0        |
| 4. カブトムシやカエルをつかまえること     | <u>34.3</u> | 40.8        | 36.1        | (44.6)      |
| 5. 子どもたちだけでデパートや映画に行くこと  | 33.8        | 35.1        | (41.0)      | <u>33.1</u> |
| 6. ゲームセンターに行くこと          | <u>25.3</u> | 28.3        | 28.6        | (33.8)      |
| 7. 真っ暗になるまで外で遊ぶこと        | 29.3        | 30.0        | <u>28.9</u> | (33.4)      |
| 8. 自分(仲間)だけの秘密の場所を持つこと   | <u>19.2</u> | 24.1        | (25.0)      | 22.6        |
| 9. どろんこ遊びをすること           | <u>13.7</u> | 21.7        | (25.5)      | 20.0        |
| 10. 「ままごと遊び」などをすること      | <u>7.2</u>  | (13.6)      | 10.1        | 9.9         |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

◯ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

図4 自然の体験

(%)

|                           | 何回もある | わりとある | 1、2回<br>ある | ぜんぜん<br>ない |
|---------------------------|-------|-------|------------|------------|
| 1. 海や川で泳いだこと              | 46.7  | 32.3  | 16.3       | 4.7        |
| 2. 虹を見たこと                 | 42.3  | 40.9  | 15.8       | 1.0        |
| 3. 草むしりをしたこと              | 42.2  | 34.9  | 17.9       | 5.0        |
| 4. 霜柱をふんだこと               | 37.1  | 24.6  | 22.0       | 16.3       |
| 5. スキーをしたこと               | 32.6  | 13.1  | 17.2       | 37.1       |
| 6. 雨で全身ビショぬれになったこと        | 31.0  | 29.0  | 33.5       | 6.5        |
| 7. 木のぼりをしたこと              | 29.3  | 27.5  | 31.7       | 11.5       |
| 8. フィールドアスレチックに行ったこと      | 27.6  | 32.0  | 30.5       | 9.9        |
| 9. 木になっている果物をとって食べたこと     | 19.4  | 21.5  | 32.7       | 26.4       |
| 10. 落ちている空き缶を拾ってゴミ箱に捨てたこと | 13.7  | 27.3  | 44.1       | 14.9       |
| 11. テントの中で寝たこと            | 13.4  | 15.5  | 37.6       | 33.5       |
| 12. キャンプファイヤーをしたこと        | 13.3  | 17.9  | 54.5       | 14.3       |
| 13. 飯ごう炊さんをしたこと           | 10.8  | 15.0  | 47.9       | 26.3       |
| 14. ボートをこいだこと             | 10.0  | 13.4  | 36.7       | 39.9       |
| 15. 日の出・日の入りを見たこと         | 8.0   | 15.8  | 47.7       | 28.5       |
| 16. どんこになって転げまわったこと       | 6.6   | 8.5   | 26.5       | 58.4       |
| 17. 天の川を見たこと              | 4.0   | 8.2   | 28.9       | 58.9       |

表4 自然の体験 × 地域

(%)

|                           | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. 海や川で泳いだこと              | 78.3         | 81.5  | 80.6 | 78.3 |
| 2. 虹を見たこと                 | 80.9         | 84.7  | 74.8 | 89.0 |
| 3. 草むしりをしたこと              | 74.2         | 79.6  | 74.2 | 81.8 |
| 4. 霜柱をふんだこと               | 66.9         | 64.7  | 47.6 | 72.1 |
| 5. スキーをしたこと               | 55.6         | 42.4  | 41.4 | 45.7 |
| 6. 雨で全身ビショぬれになったこと        | 59.1         | 60.1  | 64.1 | 57.8 |
| 7. 木のぼりをしたこと              | 58.9         | 58.3  | 52.2 | 57.9 |
| 8. フィールドアスレチックに行ったこと      | 58.2         | 62.8  | 56.2 | 59.3 |
| 9. 木になっている果物をとって食べたこと     | 42.8         | 38.4  | 37.4 | 44.4 |
| 10. 落ちている空き缶を拾ってゴミ箱に捨てたこと | 39.8         | 45.4  | 36.8 | 42.0 |
| 11. テントの中で寝たこと            | 26.4         | 28.3  | 29.0 | 28.7 |
| 12. キャンプファイヤーをしたこと        | 27.8         | 32.2  | 29.9 | 33.3 |
| 13. 飯ごう炊さんをしたこと           | 24.5         | 26.4  | 17.4 | 31.4 |
| 14. ボートをこいだこと             | 23.6         | 26.3  | 24.0 | 19.4 |
| 15. 日の出・日の入りを見たこと         | 22.6         | 25.4  | 24.3 | 22.9 |
| 16. どんろんになって転げまわったこと      | 13.4         | 17.5  | 17.1 | 14.2 |
| 17. 天の川を見たこと              | 12.5         | 12.8  | 8.3  | 14.8 |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

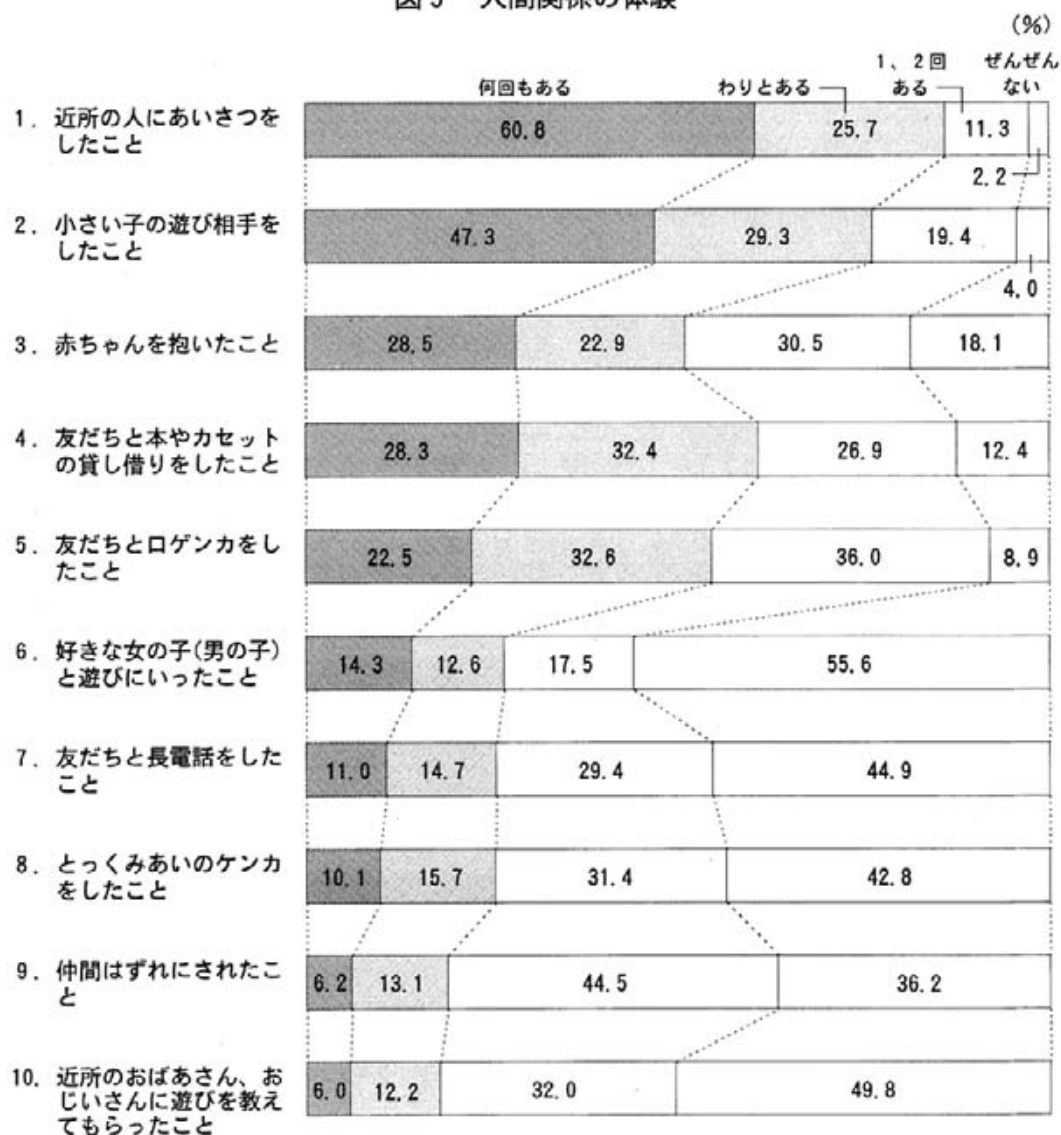
◻ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

## ●人間関係の体験)))

図5には、人間関係の体験として、赤ちゃんから祖父母まで、子どもたちが自分の身のまわりの人と、どの程度の接触をもっているのかを尋ねた。社会生活を営む上で、基本的な習慣であると思われた「近所の人へのあい

さつ」でさえ、いつものようにそれをしている割合は6割とあまり高くない。また、「とっくみあいのケンカ」では、小学校6年生までで「ぜんぜんしたことのない」子が半数近くと、その体験の少なさを表している。

図5 人間関係の体験



人間関係の体験は、子どもたちの人格を形成する上で重要な意味をもっていると思われる。なぜなら、人生の中での対立や衝突をどう受け止め、どのように処理するかという術は様々な人との関わりの中で形成されていくものだからである。そういう意味では、この体験の少なさは、子どもたちの今後の成長を考える意味で憂慮すべきことのように思える。また、このような人間関係の体験の少なさが現在の子どもたちの自己像などにどう影響し

ているかについては、2章で詳しく見ていく。

これも地域別に見ていくと、表5に示すように、大きな差ではないが、農業地域の子どもたちの体験が少なくなっている。これは、農業地域の人口の減少に伴う子どもの人数の少なさが原因のように思われる。

表5 人間関係の体験 × 地域

(%)

|                                 | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. 近所の人にあいさつをしたこと               | 87.5         | 91.4  | 85.4 | 83.2 |
| 2. 小さい子の遊び相手をしたこと               | 75.1         | 78.5  | 74.6 | 73.5 |
| 3. 赤ちゃんを抱いたこと                   | 51.2         | 50.5  | 51.9 | 49.5 |
| 4. 友だちと本やカセットの貸し借りをしたこと         | 61.7         | 58.9  | 61.3 | 58.0 |
| 5. 友だちとロケンカをしたこと                | 54.8         | 56.8  | 59.6 | 50.6 |
| 6. 好きな女の子(男の子)と遊びにいったこと         | 33.1         | 24.4  | 30.3 | 21.8 |
| 7. 友だちと長電話をしたこと                 | 27.4         | 22.0  | 25.4 | 24.2 |
| 8. とっくみあいのケンカをしたこと              | 27.7         | 25.1  | 26.8 | 24.5 |
| 9. 仲間はずれにされたこと                  | 18.4         | 22.5  | 18.4 | 17.3 |
| 10. 近所のおばあさん、おじいさんに遊びを教えてもらったこと | 18.2         | 18.2  | 16.2 | 19.8 |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

◻ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの



## ●新しい体験)))

次の図6に子どもたちの中に新しく入ってきた「メカ・メディア」について、その使用の体験を示した。「テレホンカード」「ビデオ録画」「電卓の計算」などは、「わりとある」を含めると約7割の子が使用しており、子どもたちの中かなりの割合でその使用が定着しつつあることがうかがえる。

また、「ワープロ」「パソコン」といったかなり難しい機器でも、1割を超す子どもたちが何度も使ったことがあると答えている。

表6に示すとおり、ここでの地域差はあまり見られないが、新しい機器の利用率が、商業地域でやや高く、農業地域でやや低くなっている。

図7(表7)には、勉強体験を示した。学習塾、中学受験などで子どもの勉強での体験もいろいろな変化があるのではないかと考えられる。図が示すように、塾やおけいこごとについては、行っていない者のほうがめずらしいようで、2割を切っている。

また勉強の仕方を見ていくと、「英語の勉

強をしたことがある」子が、「わりとある」を含めると4割近くになり、「図書館に行っ  
て勉強をしたこと」がある子も3割近くになる。そして、「夜、12時頃まで勉強をしたこと」がある子も1割近く見られる。

さて、次は少し角度を変えて、子どもたちの文化的な体験をみてみた。図8が示すように「バイオリンやピアノを弾いたことのある」子は「わりとある」を含めると約半数になる。そして、「美術館や水族館に行ったことのある」子は6割を超し、「盆踊り」や「おみこしをかつぐ」など、昔からの行事への参加もほぼ4~5割とかなり高い数値を示している。

また表8で地域とのクロスを見ていくと、「美術館や水族館」「図書館利用」「プラネタリウム」は商業地域に、「盆踊り」「おみこし」は新興住宅地。一方、農業地域が全体的に体験が低くなるというように、その地域の環境により、子どもたちの文化的な体験はやや変化するようである。



図6 メカ・メディアの体験

(%)

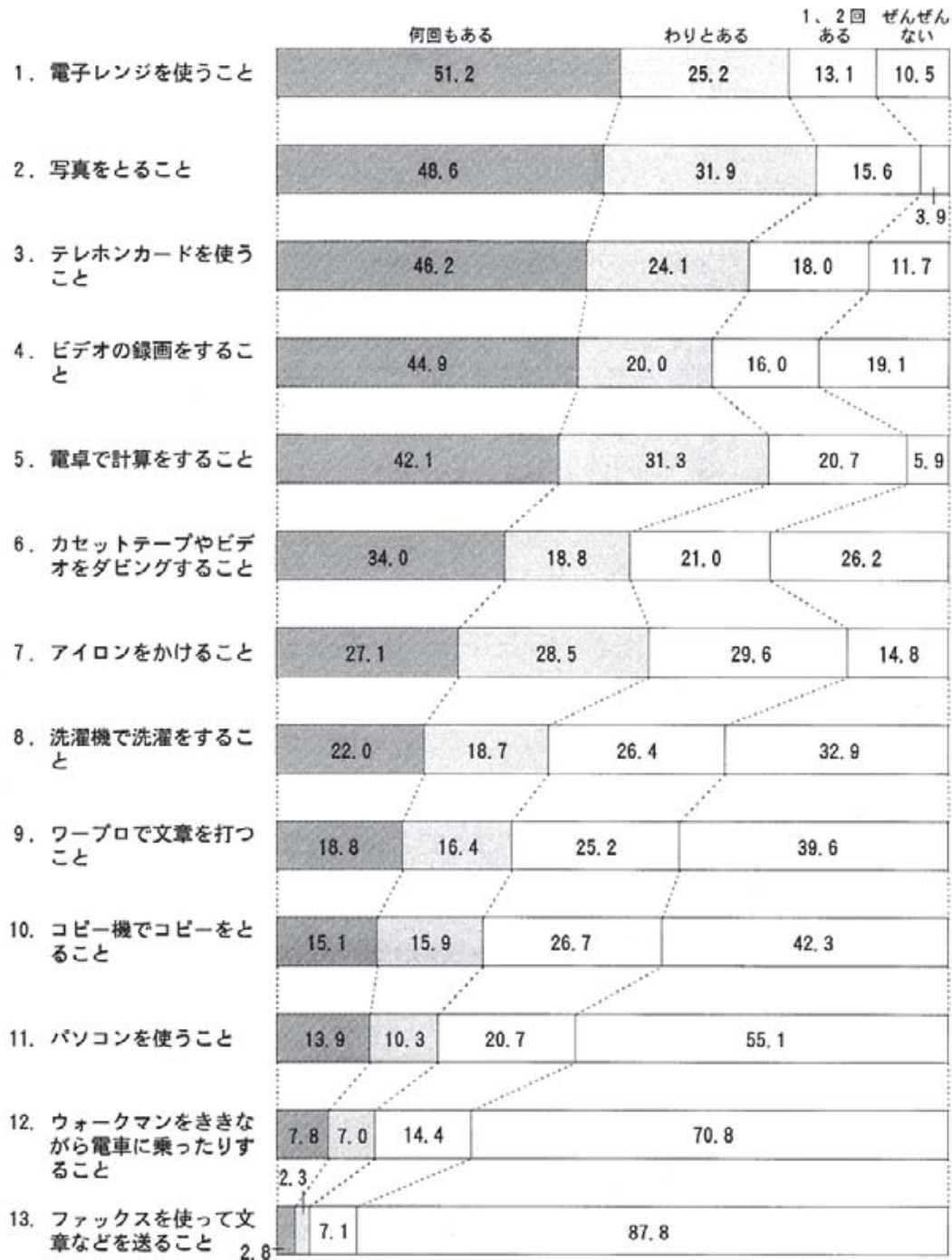


表6 メカ・メディアの体験 × 地域

(%)

|                                 | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地       | 商業地域        | 農業地域        |
|---------------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 電子レンジを使うこと                   | <u>72.9</u>  | 80.4        | 77.7        | 73.2        |
| 2. 写真をとること                      | <u>78.0</u>  | 79.2        | 83.5        | 78.5        |
| 3. テレホンカードを使うこと                 | 73.9         | 68.0        | 71.5        | <u>67.6</u> |
| 4. ビデオの録画をすること                  | 67.7         | 66.0        | 64.2        | <u>63.1</u> |
| 5. 電卓で計算をすること                   | 75.4         | <u>67.4</u> | 74.3        | 73.4        |
| 6. カセットテープやビデオを<br>ダビングすること     | <u>46.9</u>  | 50.5        | 54.0        | 52.0        |
| 7. アイロンをかけること                   | 55.1         | 58.1        | <u>51.1</u> | 53.9        |
| 8. 洗濯機で洗濯をすること                  | 38.5         | 40.4        | <u>37.6</u> | 42.3        |
| 9. ワードプロで文章を打つこと                | 36.8         | 34.9        | 38.1        | <u>31.0</u> |
| 10. コピー機でコピーをとること               | 33.1         | 27.8        | 37.2        | <u>23.2</u> |
| 11. パソコンを使うこと                   | 23.8         | 26.0        | 26.5        | <u>21.8</u> |
| 12. ウォークマンをききながら<br>電車に乗ったりすること | 17.2         | 12.5        | 17.6        | <u>11.4</u> |
| 13. ファックスを使って文章な<br>どを送ること      | 5.5          | <u>4.2</u>  | 5.9         | <u>4.2</u>  |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

○ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

図7 勉強の体験

(%)

|                        | 何回もある | わりとある | 1、2回ある | ぜんぜんない |
|------------------------|-------|-------|--------|--------|
| 1. 塾やおけいごとに行ったこと       | 62.8  | 11.6  | 7.5    | 18.1   |
| 2. スポーツクラブに行ったこと       | 38.1  | 10.6  | 14.4   | 36.9   |
| 3. 英語の勉強をしたこと          | 23.4  | 15.3  | 26.9   | 34.4   |
| 4. 学校以外の図書館に行って勉強をしたこと | 11.1  | 17.0  | 31.8   | 40.1   |
| 5. 夜、12時頃までテスト勉強をしたこと  | 3.6   | 6.5   | 23.3   | 66.6   |

表7 勉強の体験 × 地域

(%)

|                        | 古くからの住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|------------------------|----------|-------|------|------|
| 1. 塾やおけいごとに行ったこと       | 75.0     | 83.9  | 77.2 | 65.2 |
| 2. スポーツクラブに行ったこと       | 48.6     | 52.8  | 52.8 | 43.5 |
| 3. 英語の勉強をしたこと          | 38.2     | 47.8  | 38.2 | 30.8 |
| 4. 学校以外の図書館に行って勉強をしたこと | 33.0     | 28.2  | 32.4 | 17.5 |
| 5. 夜、12時頃までテスト勉強をしたこと  | 9.6      | 11.2  | 13.1 | 6.5  |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

□ は最小値

○ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

図8 文化的な体験

|                           | 何回もある | わりとある | 1、2回ある | ぜんぜんない (%) |
|---------------------------|-------|-------|--------|------------|
| 1. バイオリンやピアノを弾いたこと(楽器の演奏) | 33.6  | 11.7  | 19.9   | 34.8       |
| 2. レンタルビデオを借りたこと          | 29.2  | 21.5  | 18.9   | 30.4       |
| 3. 美術館や水族館に行ったこと          | 29.0  | 35.0  | 28.8   | 7.2        |
| 4. 盆踊りに行ったこと              | 28.4  | 26.2  | 24.4   | 21.0       |
| 5. テレビや雑誌にハガキを出したこと       | 24.1  | 23.9  | 28.5   | 23.5       |
| 6. 地域の図書館で本を借りたこと         | 21.7  | 20.6  | 25.4   | 32.3       |
| 7. おみこしをかついだこと            | 19.5  | 18.3  | 25.8   | 36.4       |
| 8. もちつきをしたこと              | 19.2  | 23.2  | 38.3   | 19.3       |
| 9. プラネタリウムに行ったこと          | 18.4  | 23.4  | 39.1   | 19.1       |
| 10. カラオケで歌ったこと            | 14.1  | 12.3  | 24.8   | 48.8       |
| 11. 自分の作品を展覧会に出したこと       | 8.8   | 13.8  | 31.7   | 45.7       |
| 12. クラシック音楽のコンサートに行ったこと   | 4.8   | 9.0   | 26.8   | 59.4       |
| 13. 外国に行ったこと              | 1.3   | 6.8   | 90.0   |            |

表8 文化的な体験 × 地域

(%)

|                           | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. バイオリンやピアノを弾いたこと（楽器の演奏） | 47.3         | 49.2  | 44.3 | 39.4 |
| 2. レンタルビデオを借りたこと          | 50.2         | 45.4  | 53.9 | 48.9 |
| 3. 美術館や水族館に行ったこと          | 60.6         | 61.4  | 68.1 | 56.5 |
| 4. 盆踊りに行ったこと              | 52.0         | 63.7  | 58.2 | 41.7 |
| 5. テレビや雑誌にハガキを出したこと       | 53.4         | 41.6  | 48.8 | 49.7 |
| 6. 地域の図書館で本を借りたこと         | 42.0         | 43.6  | 54.6 | 29.5 |
| 7. おみこしをかついだこと            | 34.3         | 43.8  | 40.5 | 30.5 |
| 8. もちつきをしたこと              | 40.8         | 40.4  | 42.1 | 42.4 |
| 9. プラネタリウムに行ったこと          | 36.9         | 48.1  | 53.0 | 29.4 |
| 10. カラオケで歌ったこと            | 20.4         | 26.0  | 32.4 | 23.2 |
| 11. 自分の作品を展覧会に出したこと       | 19.5         | 26.0  | 19.2 | 25.4 |
| 12. クラシック音楽のコンサートに行ったこと   | 13.9         | 16.1  | 14.6 | 8.8  |
| 13. 外国に行ったこと              | 3.1          | 3.8   | 4.5  | 1.6  |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

◻ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの



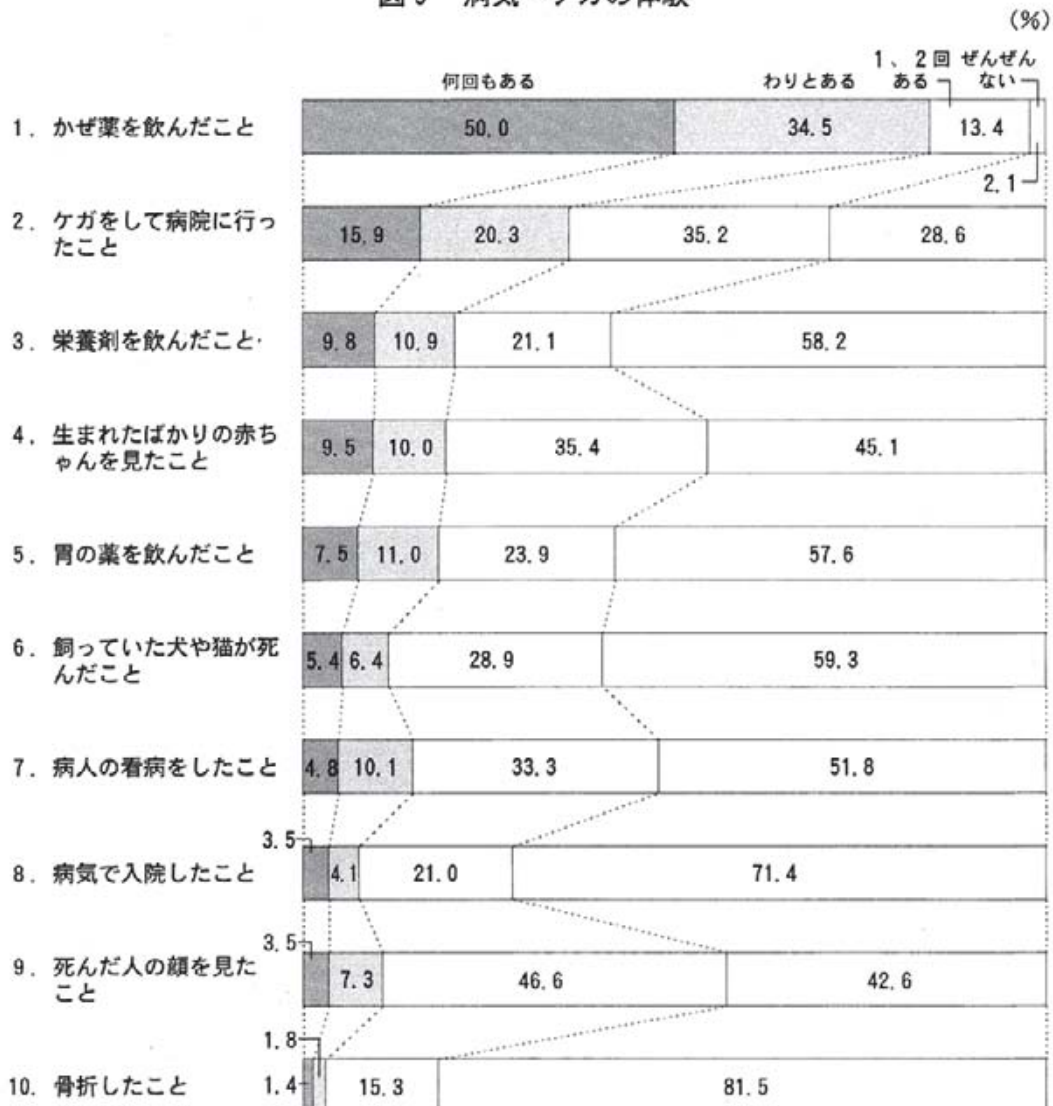
## ●情緒的な体験))

図9(表9)は、子どもたちの病気やケガの体験を尋ねたものである。この図からは子どもたちの薬を飲む量の多さが注目される。「かぜ薬」は飲むことがあるとしても、「栄養剤」や「胃の薬」を飲むが、「わりとある」を含めると2割になっている。

最後に図10(表10)で、子どもたちの心の

中の体験として情緒的な体験を見てみた。「悲しい」「はずかしい」「死にたいほどいやな気持ち」など、何度もそんな不安定な気持ちになったことのある子が1~2割。1回から2回あるまでを含めると、すべての項目で半数を超している。図9で見た、薬を飲む子の多さなども合わせて考えると、精神的に

図9 病気・ケガの体験





やや弱い子が増えてきているように思われる。

1章では、ざっとかいつまんで体験量と体験の変化を見てきたが、子どもたちは多くの物に囲まれ、また情報量の多い豊かな社会の中で、かつてないような様々な体験をもつようになった。しかしその一方で、これまで多くの子どもたちが体験していた「遊びの体験」「自然の体験」などの中に、限られた子どもにしか体験されていないものがいくつかみられた。そしてそれと同時に、子どもたちの「人間関係

の体験」も少なくなっている。

また全国調査で、各地域を比較してみたが、「自然の体験」がやや農業地域に多く見られるとか、「メカ・メディアの体験」や「新しい文化の体験」が商業地域にやや多く見られるといったように、ある程度は地域のもつ環境が子どもたちの体験に関係していたが、それほど大きな差は見られなかった。何かそれ以上の大きな要因があるようにも思える。それらも含めて、次章では体験のもつ意味について考察していく。

表9 病気・ケガの体験 × 地域

(%)

|                      | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|----------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. かせ薬を飲んだこと         | 81.7         | 87.7  | 84.3 | 82.9 |
| 2. ケガをして病院に行ったこと     | 34.1         | 40.2  | 32.5 | 36.3 |
| 3. 栄養剤を飲んだこと         | 20.7         | 29.4  | 20.4 | 18.6 |
| 4. 生まれたばかりの赤ちゃんを見たこと | 18.2         | 19.6  | 15.8 | 19.5 |
| 5. 胃の薬を飲んだこと         | 19.9         | 14.7  | 21.2 | 18.1 |
| 6. 飼っていた犬や猫が死んだこと    | 9.9          | 13.1  | 7.0  | 15.4 |
| 7. 病人の看病をしたこと        | 15.3         | 14.7  | 15.9 | 11.6 |
| 8. 病気で入院したこと         | 5.8          | 5.0   | 9.4  | 8.1  |
| 9. 死んだ人の顔を見たこと       | 10.1         | 9.3   | 9.8  | 10.7 |
| 10. 骨折したこと           | 3.6          | 1.7   | 3.8  | 3.2  |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

○ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

図10 情緒的な体験

|                                 | 何回も<br>ある | わりと<br>ある | 1、2回ある | ぜんぜんない |
|---------------------------------|-----------|-----------|--------|--------|
| 1. 悲しくて涙が止まらなかったこと              | 16.2      | 16.2      | 36.6   | 31.0   |
| 2. 顔が真っ赤になるくらいは<br>ずかしかったこと     | 15.1      | 21.8      | 42.7   | 20.4   |
| 3. 親にしかられて家を出てしまおうか<br>と思ったこと   | 14.7      | 13.8      | 33.3   | 38.2   |
| 4. 明日からもう学校に行くのをやめよう<br>と思ったこと  | 14.7      | 10.9      | 28.1   | 46.3   |
| 5. 死にたいほどいやな気持ちになった<br>こと       | 12.5      | 14.3      | 34.3   | 38.9   |
| 6. 先生にしかられて泣きたいのをとて<br>もがまんしたこと | 6.8       | 12.0      | 40.0   | 41.2   |

表10 情緒的な体験 × 地域

|                                 | 古くからの<br>住宅地 | 新興住宅地 | 商業地域 | 農業地域 |
|---------------------------------|--------------|-------|------|------|
| 1. 悲しくて涙が止まらなかったこと              | 30.2         | 36.2  | 32.7 | 28.1 |
| 2. 顔が真っ赤になるくらいは<br>ずかしかったこと     | 34.8         | 39.9  | 38.8 | 35.6 |
| 3. 親にしかられて家を出てしまおうか<br>と思ったこと   | 25.6         | 31.7  | 32.7 | 22.9 |
| 4. 明日からもう学校に行くのをやめよう<br>と思ったこと  | 20.9         | 25.0  | 30.7 | 24.9 |
| 5. 死にたいほどいやな気持ちになった<br>こと       | 24.4         | 30.5  | 28.9 | 21.7 |
| 6. 先生にしかられて泣きたいのをとて<br>もがまんしたこと | 17.6         | 18.9  | 21.4 | 18.3 |

「何回も+わりと」ある割合

○ は最大値

— は最小値

○ は最大値と最小値との差が10%以上あるもの

## 2. 体験のもつ意味



体験は、子どもの成長にとって、どんな意味をもつのであろうか。体験の多い子と少ない子では、どんな違いがみられるのだろうか。

1章では、子どもたちの体験を量的な側面

から検討してきた。それを受けて、2章では、各種の体験の量と子どもの情緒面や自己像との関係、あるいは、将来の生活や職業への希望などについて考えてみたい。

### ●加算点スケール作成の方法))

子どもたちを体験の量にもとづいて、体験の「多い群」「ふつう群」「少ない群」に分類するために、次のような方法で加算点スケールを作成した。

まず、1章で検討した10種の体験領域の中から、体験が子どもの成長に与える意味を考えるために、生活、人間関係、遊び、自然、お手伝い、メカ・メディアの6つの領域をとりました。そして、各領域から表11に掲げた

ような5項目を選んだ。

例えば、生活体験の量的な検討では、伝統的な体験から新しいタイプのものまで13項目を扱ったが、ここでは、「生卵を割ったことがある」「マッチで火をつけたことがある」など、食住に関する伝統的な体験5項目を、また、人間関係の体験の領域では、先の10項目の中から、「近所の人にあいさつをしたこと」「小さい子の遊び相手をしたこと」など、

近隣社会や自分と年齢の異なる者と交わる体験を中心に5項目を取り上げた。

このように、6つの領域のそれぞれについて、体験の「意味的なまとまり」を考えて項目をセレクトし、「何回もある」という回答に4点、「わりとある」に3点、「1、2回ある」に2点、「ぜんぜんない」に1点を加えた。こうして、加算点の合計が、16～20点を

「体験の多い群」、10～15点を「体験のふつう群」、5～9点を「体験の少ない群」とし、子どもたちを3つの群に分類した。

以下、この3つの群を比較しながら、体験の多い少ないが子どもたちにどのような影響を与えるかを考えていく。(なお、6つの体験領域における、各群の人数比や男女比については、表12に示してある。)

### 加算点スケール

体験の中から5項目を取り出して、得点化し、

|             |    |
|-------------|----|
| 何回もある……………  | 4点 |
| わりとある……………  | 3点 |
| 1、2回ある…………… | 2点 |
| ぜんぜんない…………… | 1点 |

5項目の加算した合計点により、体験の「多い群」・「ふつう群」・「少ない群」とした。

|        |    |         |
|--------|----|---------|
| 16～20点 | —— | 体験の多い群  |
| 10～15点 | —— | 体験のふつう群 |
| 5～9点   | —— | 体験の少ない群 |

表11 各体験の中から取り出した5項目

|  |   |
|--|---|
| <p>〈生活の体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生卵を割ったこと</li> <li>・マッチで火をつけたこと</li> <li>・かなづちでクギを打ったこと</li> <li>・リンゴの皮をナイフでむいたこと</li> <li>・蛍光灯や電球を取り替えたこと</li> </ul>                      | <p>〈自然の体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨で全身ビしょぬれになったこと</li> <li>・木のぼりをしたこと</li> <li>・木になっている果物をとって食べたこと</li> <li>・日の出・日の入りを見たこと</li> <li>・どろんこになって転げまわったこと</li> </ul> |
| <p>〈人間関係の体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人にあいさつをしたこと</li> <li>・小さい子の遊び相手をしたこと</li> <li>・赤ちゃんを抱いたこと</li> <li>・とっくみあいのケンカをしたこと</li> <li>・近所のおばあさん、おじいさんに遊びを教えてもらったこと</li> </ul> | <p>〈お手伝いの体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お風呂の掃除をすること</li> <li>・新聞を取ってくること</li> <li>・ぞうきんで掃除をすること</li> <li>・洗濯物を取りこむこと</li> <li>・お米をとぐこと</li> </ul>                    |
| <p>〈遊びの体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年の違う子とスポーツやおにごっこをすること</li> <li>・カブトムシやカエルをつかまえること</li> <li>・真っ暗になるまで外で遊ぶこと</li> <li>・自分（仲間）だけの秘密の場所を持つこと</li> <li>・どろんこ遊びをすること</li> </ul> | <p>〈メカ・メディアの体験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カセットテープやビデオをダビングすること</li> <li>・テレホンカードを使うこと</li> <li>・ワープロで文章を打つこと</li> <li>・コピー機でコピーをとること</li> <li>・パソコンを使うこと</li> </ul> |



表12 各体験群の人数と割合

|    |    | 生活の体験 |       |       | 人間関係の体験 |       |       | 遊びの体験      |       |       |
|----|----|-------|-------|-------|---------|-------|-------|------------|-------|-------|
|    |    | 少ない群  | ふつう群  | 多い群   | 少ない群    | ふつう群  | 多い群   | 少ない群       | ふつう群  | 多い群   |
| 全体 | 人数 | 98人   | 1142人 | 896人  | 253人    | 1488人 | 412人  | 797人       | 1174人 | 191人  |
|    | %  | 4.6%  | 53.5% | 41.9% | 11.8%   | 69.1% | 19.1% | 36.9%      | 54.3% | 8.8%  |
| 男子 | 人数 | 54人   | 562人  | 476人  | 157人    | 748人  | 201人  | 288人       | 674人  | 151人  |
|    | %  | 4.9%  | 51.5% | 43.6% | 14.2%   | 67.6% | 18.2% | 25.9%      | 60.5% | 13.6% |
| 女子 | 人数 | 44人   | 580人  | 420人  | 96人     | 740人  | 211人  | 509人       | 500人  | 40人   |
|    | %  | 4.2%  | 55.6% | 40.2% | 9.2%    | 70.6% | 20.2% | 48.5%      | 47.7% | 3.8%  |
|    |    | 自然の体験 |       |       | お手伝いの体験 |       |       | メカ・メディアの体験 |       |       |
|    |    | 少ない群  | ふつう群  | 多い群   | 少ない群    | ふつう群  | 多い群   | 少ない群       | ふつう群  | 多い群   |
| 全体 | 人数 | 593人  | 1274人 | 277人  | 289人    | 1156人 | 717人  | 643人       | 1149人 | 357人  |
|    | %  | 27.7% | 59.4% | 12.9% | 13.4%   | 53.4% | 33.2% | 30.0%      | 53.3% | 16.7% |
| 男子 | 人数 | 226人  | 686人  | 188人  | 215人    | 625人  | 273人  | 382人       | 541人  | 174人  |
|    | %  | 20.5% | 62.4% | 17.1% | 19.3%   | 56.2% | 24.5% | 34.8%      | 49.3% | 15.9% |
| 女子 | 人数 | 367人  | 588人  | 89人   | 74人     | 531人  | 444人  | 261人       | 608人  | 183人  |
|    | %  | 35.2% | 56.3% | 8.5%  | 7.1%    | 50.6% | 42.3% | 24.8%      | 57.8% | 17.4% |

## ●体験と子どもたちの情緒)))

さて、表13は、1章の最後に取り上げた子どもたちの情緒的な体験と、生活の体験、人間関係の体験など6つの領域の体験量とをクロスさせたものである。この表からは、「いやな気持ちになったこと」「悲しかったこと」「はずかしかったこと」など、いわばマイナスの情緒を強く感じる子どもは、どのような子どもなのかを見て取ることができる。

最初に、「親にしかられて家を出てしまおうかと思ったこと」と「生活の体験」をクロスさせた左上のセル(欄)を見てみよう。

ここには、「生活体験の少ない群」の半数(52.1%)が、「親にしかられて家出をしようと思ったこと」が「何回もある」ことが示されている。一方、「生活体験の多い群」では、「何回もある」は34.9%で、17ポイントほど少なくなる。

こうした数値の高低は、体験の量が子どもたちの心になんらかの影響を及ぼしていることを推測させる。

そこで、「親にしかられて家出をしよう」と思った子どもたちの割合を、生活体験以外の領域について見ていくと、表13に示すとおり、どの領域においても、体験の「少ない群」が「多い群」よりも、高い数値を示しているのがわかる。

次に、「何回もある」の最大値を示す○と第2位の○に注目すると、とりわけ、「人間関係」と「生活」の体験の「少ない群」に、家出をしようと思った子どもが多いことがわかる。さらに、「ぜんぜんない」の最大値を示す—と第2位の—をみると、家出など思いもよらないというのは、「自然」や「遊

び」の体験の「多い群」に、数多くみられる。

同様に、「悲しくて涙が止まらなかったこと」から「先生にしかられて泣きたいのをとてもがまんしたこと」まで、順に調べていくと、「何回もある」の最大値を示す○は、そのすべてが「人間関係」の「少ない群」に、また、第2位の○は、「お手伝い」と「生活」の体験の「少ない群」に集中していることがわかる。

この表13の中から、「親にしかられて家を出てしまおうかと思ったこと」を図11に、また、「明日からもう学校へ行くのをやめようと思ったこと」を図12にグラフ化した。

図11に示すとおり、家出をしようと思った子どもは、すべての領域で、体験の「少ない群」が「多い群」をかなり上回っているのがわかる。特に、「人間関係の体験」において、その差が一番大きく、「少ない群」で、約60%の子どもが「何回も」家出をしようと思ったのに対して、「多い群」では、約25%と最も少なくなっているのが注目される。

図12の「学校へ行くのをやめようと思ったこと」でも、同様の傾向がみられ、「人間関係」の「少ない群」が「何回もある」割合が最も多い。逆に、「人間関係」の「多い群」が最も少なくなる。

こうしたことから、家庭や学校でしかられたり、何かいやなことがあったときでも、「人間関係」をはじめとする各種の体験が豊富な子どもほど、がんばれるようである。多様な体験を積むことによって、困難に遭遇しても、その厳しさに耐えたり、自らの力で解決したりすることができるようになるのだろうか。

表13 情緒的な体験 × 体験量

(%)

|   | 生活の体験    |          | 人間関係の体験  |         | 遊びの体験    |         | 自然の体験    |         | お手伝いの体験  |         | メカ・メディアの体験 |         |      |      |      |      |      |
|---|----------|----------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|------------|---------|------|------|------|------|------|
|   | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 少ない<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群   | 多い<br>群 |      |      |      |      |      |
| 親にしか<br>おつか<br>りか<br>れな<br>か<br>ら<br>な<br>い<br>こ<br>と | 52.1     | 40.0     | 34.9     | 38.1    | 25.3     | 46.3    | 34.3     | 28.3    | 46.4     | 37.0    | 27.7       | 46.4    | 39.6 | 32.5 | 43.0 | 37.2 | 32.0 |
|   | 26.5     | 35.4     | 31.6     | 29.6    | 35.0     | 32.7    | 34.6     | 27.7    | 34.6     | 33.8    | 26.3       | 31.1    | 35.0 | 31.6 | 33.2 | 34.2 | 31.1 |
|   | 14.3     | 12.9     | 14.7     | 7.9     | 14.4     | 15.3    | 14.1     | 11.1    | 15.1     | 14.2    | 14.5       | 13.6    | 14.9 | 14.5 | 13.6 | 14.2 | 13.4 |
|   | 7.1      | 11.7     | 18.8     | 3.2     | 12.5     | 29.7    | 9.8      | 15.3    | 29.9     | 7.9     | 14.1       | 31.8    | 14.5 | 10.5 | 21.4 | 10.2 | 14.4 |
| か<br>ら<br>な<br>い<br>こ<br>と                            | 40.8     | 31.7     | 29.3     | 55.5    | 30.1     | 19.5    | 32.5     | 35.8    | 29.5     | 28.1    | 47.7       | 37.9    | 28.1 | 21.9 | 37.9 | 28.1 | 27.2 |
|   | 38.8     | 38.3     | 34.4     | 30.6    | 39.0     | 30.7    | 34.0     | 39.4    | 36.9     | 29.6    | 33.8       | 39.8    | 32.4 | 36.4 | 36.4 | 38.0 | 33.5 |
|   | 9.2      | 16.4     | 16.6     | 9.9     | 17.6     | 15.6    | 11.0     | 15.5    | 16.8     | 14.2    | 9.4        | 15.8    | 19.5 | 15.4 | 15.4 | 16.9 | 15.4 |
|   | 11.2     | 13.6     | 19.7     | 4.0     | 13.3     | 34.2    | 22.5     | 9.3     | 16.8     | 28.1    | 9.1        | 11.8    | 26.2 | 10.3 | 10.3 | 17.0 | 23.9 |
| い<br>は<br>が<br>真<br>っ<br>か<br>し<br>な<br>い<br>こ<br>と   | 31.6     | 20.3     | 19.4     | 32.1    | 19.9     | 12.9    | 21.5     | 24.8    | 18.8     | 17.5    | 29.2       | 21.1    | 15.5 | 23.5 | 23.5 | 18.4 | 19.2 |
|   | 44.9     | 45.2     | 39.4     | 50.0    | 44.3     | 33.7    | 37.1     | 45.9    | 43.5     | 31.6    | 46.5       | 45.0    | 37.2 | 46.0 | 43.1 | 36.3 | 36.3 |
|   | 13.3     | 22.4     | 21.8     | 12.3    | 23.2     | 23.2    | 17.8     | 20.3    | 23.0     | 20.7    | 13.9       | 22.1    | 24.9 | 18.7 | 18.7 | 24.4 | 20.6 |
|   | 10.2     | 12.1     | 19.4     | 5.6     | 12.6     | 30.2    | 23.6     | 9.0     | 14.7     | 30.2    | 10.4       | 11.8    | 22.4 | 11.8 | 11.8 | 14.1 | 23.9 |

|                        | 生活の体験 |      | 人間関係の体験 |      | 遊びの体験 |      | 自然の体験 |      | お手伝いの体験 |      | メカ・メディアの体験 |      |      |      |      |      |      |      |
|------------------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|------|---------|------|------------|------|------|------|------|------|------|------|
|                        | 少ない群  | ふつう群 | 少ない群    | ふつう群 | 少ない群  | ふつう群 | 少ない群  | ふつう群 | 少ない群    | ふつう群 | 少ない群       | ふつう群 |      |      |      |      |      |      |
| 多くの明日をやるめよと学校に行きたくないこと | 58.2  | 48.8 | 61.3    | 47.2 | 33.8  | 52.5 | 43.6  | 38.3 | 53.9    | 44.0 | 40.0       | 48.0 | 40.6 | 50.3 | 46.0 | 39.5 |      |      |
|                        | 21.4  | 29.0 | 23.3    | 29.6 | 25.8  | 28.9 | 28.5  | 22.0 | 28.5    | 29.3 | 20.7       | 24.9 | 30.2 | 27.4 | 27.9 | 28.9 |      |      |
|                        | 7.1   | 11.0 | 8.3     | 11.0 | 12.2  | 9.2  | 11.8  | 12.0 | 8.3     | 12.3 | 11.3       | 10.4 | 9.6  | 13.2 | 10.0 | 11.2 | 12.3 |      |
|                        | 13.3  | 11.2 | 19.1    | 7.1  | 12.2  | 28.2 | 9.4   | 16.1 | 27.7    | 9.3  | 14.4       | 28.0 | 11.8 | 12.2 | 20.1 | 12.3 | 14.9 | 19.3 |
| 死にたいほどいやな気持ちになったこと     | 45.9  | 39.5 | 37.6    | 52.2 | 39.8  | 41.8 | 37.6  | 35.6 | 43.3    | 38.0 | 33.8       | 48.4 | 39.5 | 34.1 | 43.4 | 37.2 | 35.8 |      |
|                        | 37.8  | 36.2 | 31.7    | 37.5 | 34.5  | 37.9 | 32.6  | 28.8 | 40.1    | 33.3 | 25.1       | 33.8 | 36.1 | 31.7 | 34.3 | 35.5 | 30.3 |      |
|                        | 11.2  | 14.6 | 14.1    | 7.1  | 14.4  | 18.0 | 12.7  | 15.9 | 11.5    | 11.0 | 16.0       | 14.2 | 10.8 | 14.3 | 15.8 | 14.0 | 14.8 | 13.7 |
|                        | 5.1   | 9.7  | 16.6    | 3.2  | 11.3  | 23.2 | 7.6   | 13.9 | 24.1    | 5.6  | 12.7       | 26.9 | 7.0  | 10.1 | 18.4 | 8.3  | 12.5 | 20.2 |
| 先生にしかられて泣きたこと          | 43.2  | 40.3 | 42.0    | 50.6 | 41.3  | 46.5 | 38.6  | 34.5 | 46.7    | 39.4 | 38.3       | 47.9 | 42.1 | 36.7 | 40.4 | 42.0 | 39.6 |      |
|                        | 42.3  | 42.4 | 37.1    | 38.3 | 41.2  | 40.2 | 41.1  | 33.0 | 39.8    | 41.5 | 33.6       | 39.6 | 40.3 | 39.9 | 42.1 | 40.4 | 35.4 |      |
|                        | 9.3   | 12.3 | 11.8    | 8.7  | 11.9  | 14.6 | 9.8   | 12.7 | 17.3    | 10.3 | 12.7       | 12.0 | 8.0  | 12.6 | 12.8 | 11.7 | 11.5 | 13.8 |
|                        | 5.2   | 5.0  | 9.1     | 2.4  | 5.6   | 13.9 | 3.5   | 7.6  | 15.2    | 3.2  | 6.4        | 16.1 | 4.5  | 5.0  | 10.6 | 5.8  | 6.1  | 11.2 |

○は「何回もある」の最大値  
 ○は「何回もある」の第2位  
 —は「ぜんぜんない」の最大値  
 —は「ぜんぜんない」の第2位



図11 親にしかられて家を出てしまおうかと思ったこと × 体験群

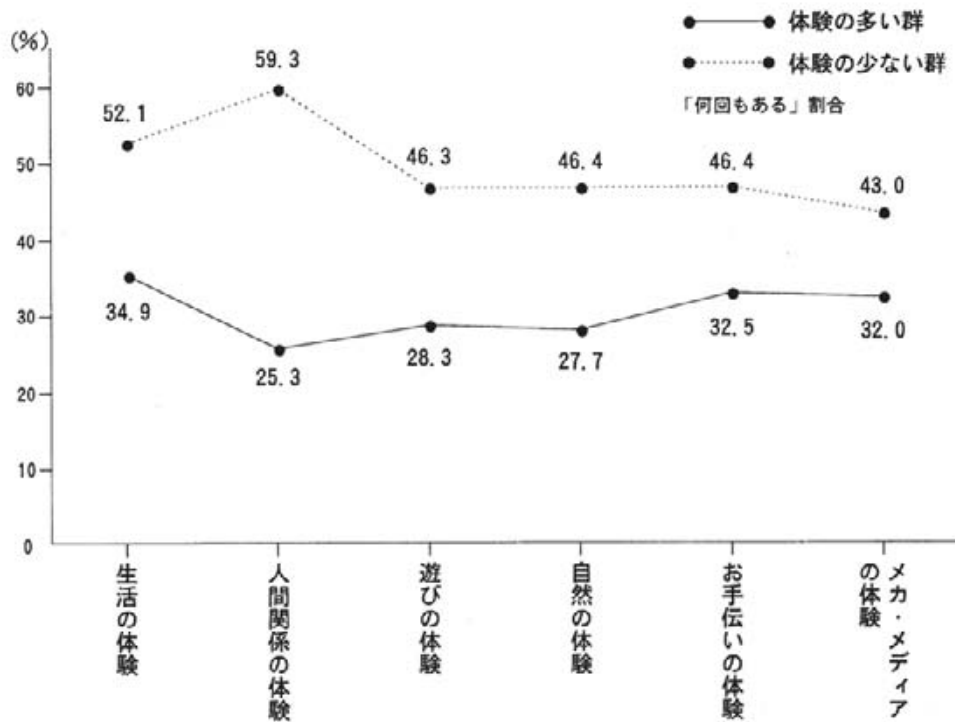
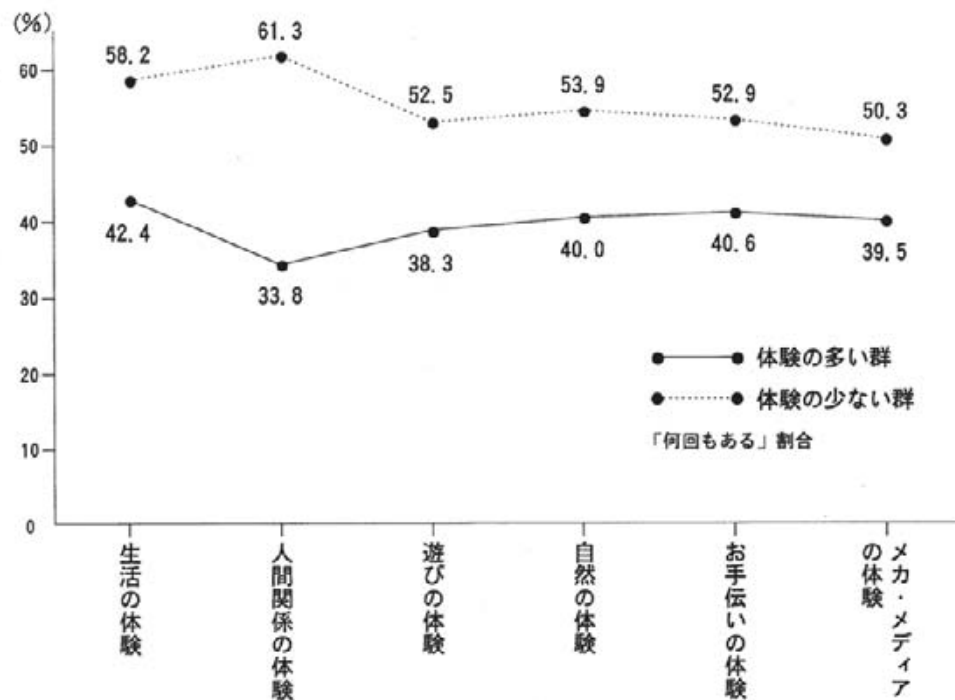


図12 明日からもう学校に行くのをやめようと思ったこと × 体験群





## ●体験と自己像)))

これまで、子どもたちのマイナスの情緒と体験との関係を探ってきたが、次に、もう少し広げて、やる気やねばり強さといった面から、子どもたちの自己像と体験との関係について迫ってみたい。

表14は、体験が子どもの自己像に与える影響についてみたものである。(データの配列や符合のつけ方は、先の表13と同様である。)

表から、「とてもそう」の高い数値を、順にいくつか拾っていくと、「誰とでもすぐ仲よくなれる」は、「自然の体験」の「多い群」が47.1%で第1位、次いで「遊びの体験」の「多い群」の43.2%である。「困っている友だちがいたら声をかけ助けてあげられる」では、「人間関係の体験」の「多い群」が34.3%で第1位、2番目は「自然の体験」の「多い群」の33.8%。「やりかけたことは最後までがんばることができる」では、第1位が「人間関係の体験」の「多い群」(24.3%)、第2位が「自然の体験」の「多い群」(23.3%)となる。

このように、全体的な傾向としては、「遊び」「自然」「人間関係」の体験が豊かな子どもは、自分に自信をもっているといえそうである。豊かな自然に触れたり、仲間との様々な関わりをもつことで、精神的にタフになり、問題を処理する能力も高まっていくのであろう。

また、「将来コンピュータが出てきても使いこなせる」では、さすがに「メカ・メディアの体験」の「多い群」(26.3%)が第1位を占め、第2位は「遊びの体験」の「多い群」(25.8%)となる。

図13は、先の自己像の項目から、人間的な側面として、「いいお父さん、お母さんになれる」を、図14には、社会的達成の側面として、「やりかけたことは最後までがんばることができる」を抜きだし、それぞれ「とてもそう」と答えた割合を、体験の領域ごとにグ

ラフ化したものである。

2つのグラフからは、やはり体験の「多い群」の数値が「少ない群」を上回っているのが読み取れる。ただ、「とてもそう」とハッキリ言い切ることができる子どもは2割にとどまっており、ややさびしい気がする。とりわけ、「人間関係」や「お手伝い」の体験の少ない群では、さらに自信がなさそうに感じられる。

核家族化、子どもの数の減少、過保護といったことは、現代社会の全体的な傾向であるが、身近な家庭の手伝いや各種のボランティアを体験することも、自己イメージを高めることにつながるのではないだろうか。

ところで、子どもたちが1日の大半を過ごすのは、なんといっても学校である。そこで、図15に、体験の量と「学校の楽しさ」との関係を示して、「とても楽しい」の割合で示してみた。

ここでは、6つの体験領域のすべてにおいて、体験の「多い群」が「少ない群」を上回っており、体験の「多い群」では3割の子どもが、学校は「とても楽しい」と答えているのがわかる。いろいろな体験の多い子どもは、学校生活もまた、意欲的に過ごしているようである。

また、「少ない群」の中では、特に「遊びの体験」の少ないグループに、学校を「とても楽しい」と答える者が多いのが目を引く。遊び体験の少ない子どもにとっては、放課後など友だちと飛び回って遊ぶことが少ないために、学校で友だちと一緒に学習したり、遊んだりするのは、とりわけ楽しいことなのであろう。

最後に、これまで見てきた子どもの自己像に関するデータを、体験の「多い群」と「少ない群」でグラフに整理したものが図16から図21である。これらのグラフをみると、「とてもそう」の割合は、6つの体験領域のほとんどすべてにおいて、「多い群」が「少ない群」を上回っていることが、改めて確認される。

表14 自己像 × 体験量

(%)

|  | 生活の体験     |      | 人間関係の体験 |      | 遊びの体験 |      | 自然の体験 |      | お手伝いの体験 |      | メカ・メディアの体験 |      |      |      |      |      |      |      |      |
|--|-----------|------|---------|------|-------|------|-------|------|---------|------|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|  | 少ない群      | ふつう群 | 少ない群    | ふつう群 | 少ない群  | ふつう群 | 少ない群  | ふつう群 | 少ない群    | ふつう群 | 少ない群       | ふつう群 |      |      |      |      |      |      |      |
| く誰となれぬ<br>すく仲よ   | とでもそう     | 22.7 | 27.0    | 35.5 | 15.4  | 29.4 | 42.8  | 26.5 | 30.4    | 43.2 | 23.3       | 29.9 | 47.1 | 22.8 | 27.7 | 37.6 | 23.0 | 32.2 | 38.7 |
|  | 少しそう      | 49.5 | 48.6    | 44.1 | 45.1  | 48.3 | 40.9  | 48.7 | 46.8    | 40.0 | 47.4       | 48.4 | 37.0 | 43.6 | 48.2 | 45.3 | 47.5 | 46.1 | 46.2 |
|  | あまりそうでない  | 20.6 | 20.4    | 17.5 | 31.2  | 19.1 | 13.6  | 20.5 | 19.6    | 12.6 | 24.2       | 18.6 | 12.3 | 24.6 | 20.6 | 15.1 | 23.0 | 19.3 | 12.9 |
|  | ぜんぜんそうでない | 7.2  | 4.0     | 2.9  | 8.3   | 3.2  | 2.7   | 4.3  | 3.2     | 4.2  | 5.1        | 3.1  | 3.6  | 9.0  | 3.5  | 2.0  | 6.5  | 2.4  | 2.2  |
| 助が困<br>いてた<br>らあ<br>げら<br>れる                             | とでもそう     | 24.5 | 20.4    | 26.3 | 9.1   | 22.2 | 34.3  | 21.2 | 23.3    | 27.7 | 20.2       | 21.8 | 33.8 | 12.8 | 18.8 | 33.5 | 16.6 | 24.7 | 28.9 |
|  | 少しそう      | 36.7 | 49.1    | 50.6 | 44.5  | 51.3 | 45.1  | 50.1 | 49.7    | 42.4 | 47.4       | 51.4 | 42.9 | 38.6 | 52.3 | 48.5 | 47.8 | 49.6 | 50.4 |
|  | あまりそうでない  | 28.6 | 24.3    | 18.0 | 31.7  | 21.5 | 16.5  | 23.2 | 21.4    | 19.4 | 24.3       | 21.5 | 17.8 | 33.0 | 23.7 | 14.5 | 26.7 | 20.7 | 16.8 |
|  | ぜんぜんそうでない | 10.2 | 6.2     | 5.1  | 14.7  | 5.0  | 4.1   | 5.5  | 5.6     | 10.5 | 8.1        | 5.3  | 5.5  | 15.6 | 5.2  | 3.5  | 8.9  | 5.0  | 3.9  |
| こと最<br>やり<br>かか<br>けた<br>こと<br>は最<br>後ま<br>でが<br>んば<br>る | とでもそう     | 21.6 | 14.2    | 20.3 | 12.3  | 16.2 | 24.3  | 17.0 | 16.9    | 21.1 | 15.6       | 16.9 | 23.3 | 11.8 | 15.1 | 23.2 | 13.2 | 18.4 | 22.2 |
|  | 少しそう      | 26.8 | 45.0    | 43.7 | 35.2  | 45.9 | 39.5  | 43.5 | 43.3    | 43.1 | 44.3       | 43.1 | 41.9 | 35.6 | 45.3 | 43.2 | 40.5 | 45.1 | 44.0 |
|  | あまりそうでない  | 38.2 | 34.3    | 30.4 | 41.8  | 32.4 | 29.9  | 33.8 | 33.6    | 24.7 | 33.0       | 34.6 | 25.7 | 35.3 | 34.7 | 29.1 | 37.0 | 31.6 | 28.7 |
|  | ぜんぜんそうでない | 13.4 | 6.5     | 5.6  | 10.7  | 5.5  | 6.3   | 5.7  | 6.2     | 11.1 | 7.1        | 5.4  | 9.1  | 17.3 | 4.9  | 4.5  | 9.3  | 4.9  | 5.1  |
| てい新<br>しい<br>こと<br>や吉<br>し<br>いこ<br>とも<br>も挑<br>戦し<br>る  | とでもそう     | 13.3 | 12.2    | 20.4 | 8.7   | 14.7 | 23.4  | 11.9 | 16.5    | 26.2 | 10.5       | 15.5 | 28.7 | 8.7  | 13.4 | 22.2 | 11.8 | 16.4 | 20.7 |
|  | 少しそう      | 40.8 | 43.2    | 42.5 | 32.5  | 44.1 | 43.3  | 40.1 | 45.0    | 36.6 | 39.4       | 44.2 | 40.7 | 37.1 | 43.6 | 42.6 | 39.0 | 43.0 | 46.5 |
|  | あまりそうでない  | 31.6 | 34.2    | 28.8 | 41.3  | 32.3 | 26.0  | 37.7 | 29.5    | 24.1 | 37.8       | 31.3 | 22.2 | 36.8 | 33.2 | 28.6 | 36.1 | 31.4 | 26.9 |
|  | ぜんぜんそうでない | 14.3 | 10.4    | 8.3  | 17.5  | 8.9  | 7.3   | 10.3 | 8.9     | 13.1 | 12.3       | 9.0  | 8.4  | 17.4 | 9.8  | 6.6  | 13.1 | 9.2  | 5.9  |

(%)

|   | 生活の体験 |      |      | 人間関係の体験 |      |      | 遊びの体験 |      |      | 自然の体験 |      |      | お手伝いの体験 |      |      | メカ・メディアの体験 |      |      |
|---|-------|------|------|---------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|---------|------|------|------------|------|------|
|   | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群       | ふつう群 | 多い群  |
| 母い<br>さんお<br>んな<br>さん<br>に<br>な<br>れ<br>る<br>お                          | 13.3  | 11.9 | 16.6 | 7.2     | 12.6 | 23.7 | 10.6  | 14.7 | 22.0 | 11.5  | 13.9 | 20.1 | 12.2    | 12.1 | 18.1 | 12.0       | 14.2 | 16.6 |
|   | 34.7  | 39.9 | 41.0 | 30.8    | 42.3 | 39.2 | 41.8  | 40.4 | 35.1 | 38.7  | 40.5 | 42.5 | 30.1    | 40.6 | 43.9 | 35.6       | 41.5 | 44.6 |
|   | 40.8  | 35.4 | 31.0 | 39.2    | 35.0 | 24.4 | 37.2  | 32.8 | 24.1 | 38.1  | 33.2 | 26.0 | 38.1    | 35.2 | 29.2 | 38.5       | 32.6 | 28.7 |
|   | 11.2  | 12.8 | 11.4 | 22.8    | 10.1 | 12.7 | 10.4  | 12.1 | 18.8 | 11.7  | 12.4 | 11.4 | 19.6    | 12.1 | 8.8  | 13.9       | 11.7 | 10.1 |
| こ<br>が<br>出<br>て<br>き<br>て<br>も<br>使<br>い<br>た<br>り<br>な<br>さ<br>せ<br>る | 10.2  | 8.3  | 16.4 | 7.1     | 10.7 | 19.0 | 8.9   | 11.7 | 25.8 | 8.8   | 10.8 | 23.3 | 10.5    | 10.5 | 14.7 | 6.6        | 10.5 | 26.3 |
|   | 25.5  | 31.7 | 36.1 | 25.0    | 34.0 | 36.3 | 31.9  | 34.5 | 30.5 | 27.6  | 35.6 | 34.1 | 23.7    | 33.3 | 36.9 | 24.3       | 35.3 | 42.9 |
|   | 31.6  | 37.3 | 31.1 | 40.9    | 35.1 | 27.1 | 37.9  | 33.0 | 27.4 | 38.9  | 34.4 | 24.4 | 33.4    | 36.1 | 31.8 | 37.6       | 36.2 | 22.9 |
|   | 32.7  | 22.7 | 16.4 | 27.0    | 20.2 | 17.6 | 21.3  | 20.8 | 16.3 | 24.7  | 19.2 | 18.2 | 32.4    | 20.1 | 16.6 | 31.5       | 18.0 | 7.9  |
| 人<br>で<br>生<br>き<br>て<br>い<br>け<br>る                                    | 4.1   | 3.9  | 7.7  | 4.8     | 5.1  | 7.8  | 3.5   | 5.5  | 13.6 | 3.4   | 5.3  | 11.7 | 8.0     | 4.4  | 6.4  | 3.9        | 5.3  | 9.0  |
|   | 21.4  | 23.1 | 33.4 | 17.5    | 27.3 | 34.3 | 22.2  | 29.9 | 33.0 | 20.1  | 28.9 | 35.4 | 19.4    | 27.1 | 31.0 | 21.7       | 27.6 | 36.9 |
|   | 33.7  | 43.6 | 34.7 | 45.6    | 40.1 | 32.8 | 44.6  | 37.7 | 28.8 | 43.6  | 39.5 | 28.1 | 40.7    | 42.0 | 34.4 | 43.5       | 39.6 | 32.5 |
|   | 40.8  | 29.4 | 24.2 | 32.1    | 27.5 | 25.1 | 29.7  | 26.9 | 24.6 | 32.9  | 26.3 | 24.8 | 31.9    | 26.5 | 28.2 | 30.9       | 27.5 | 21.6 |

( ) は「とてもそう」の最大値  
 ( ) は「とてもそう」の第2位  
 — は「ぜんぜんそうでない」の最大値  
 — は「ぜんぜんそうでない」の第2位



図13 いいお父さん、お母さんになれる × 体験群

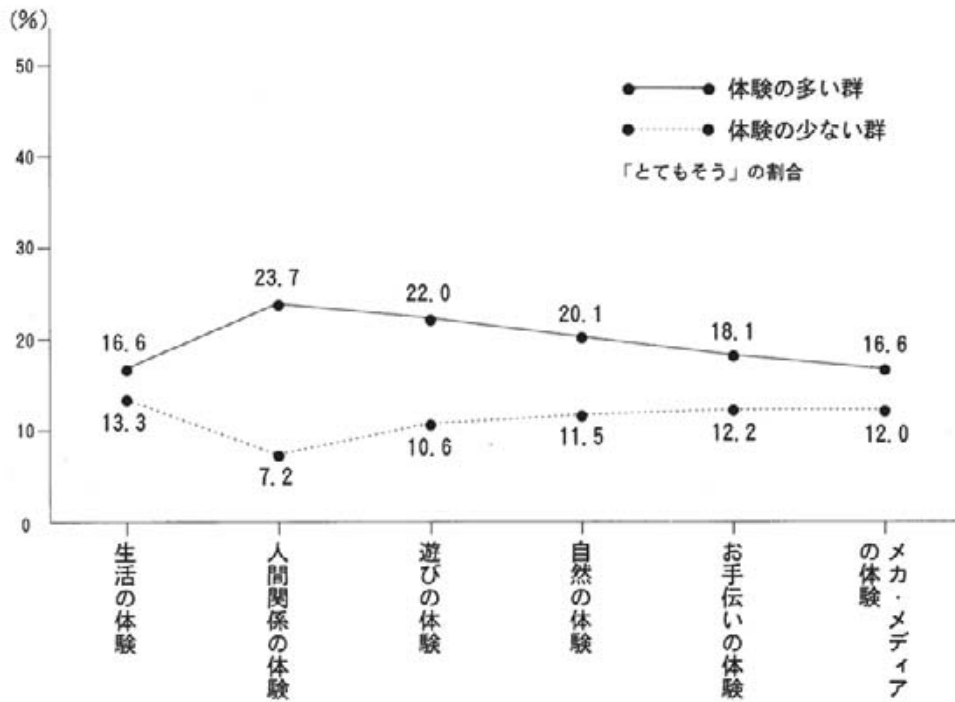


図14 やりかけたことは最後までがんばることができる × 体験群

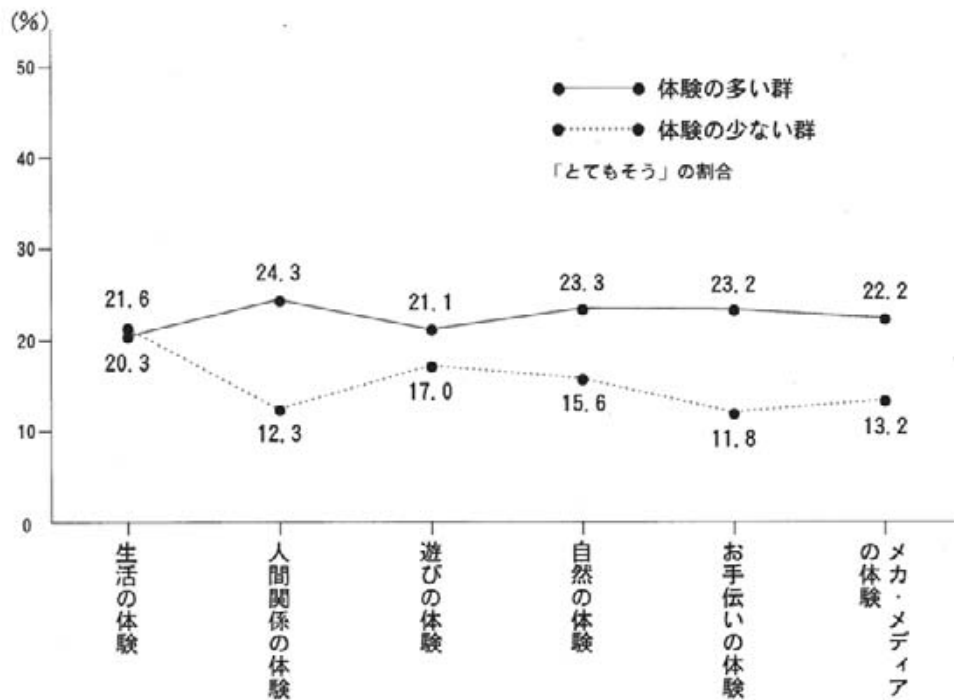


図15 学校の楽しさ × 体験群

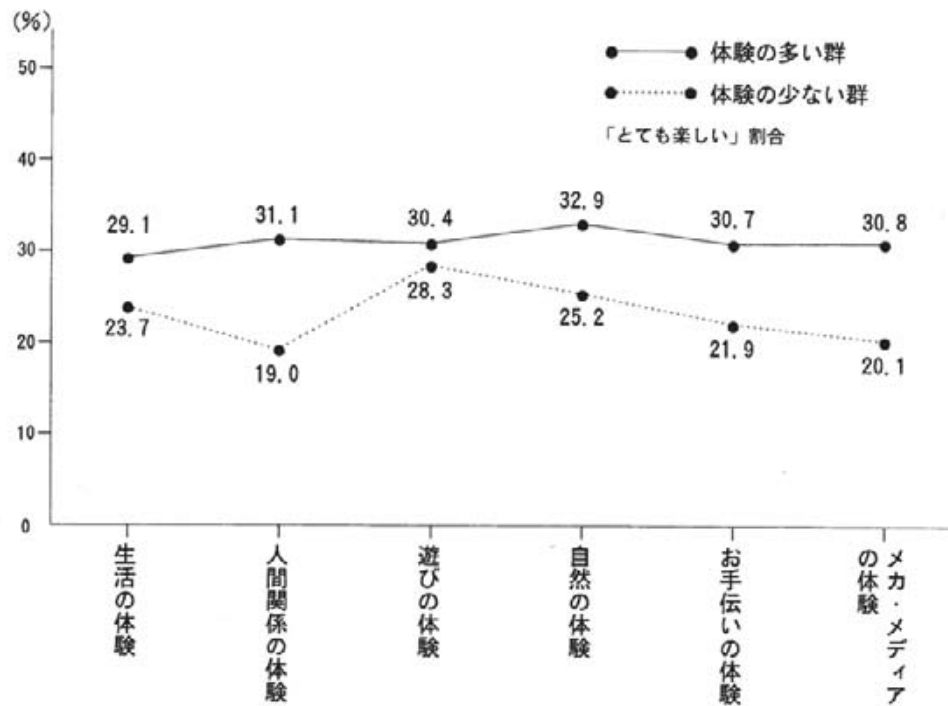


図16 自己像 × 生活の体験量

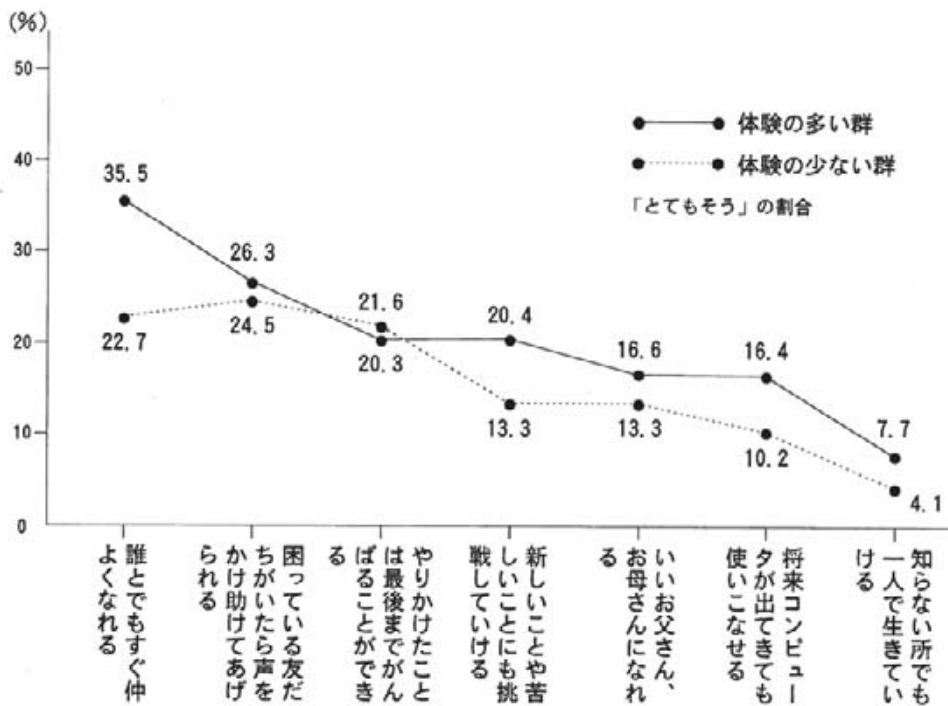




図17 自己像 × 人間関係の体験量

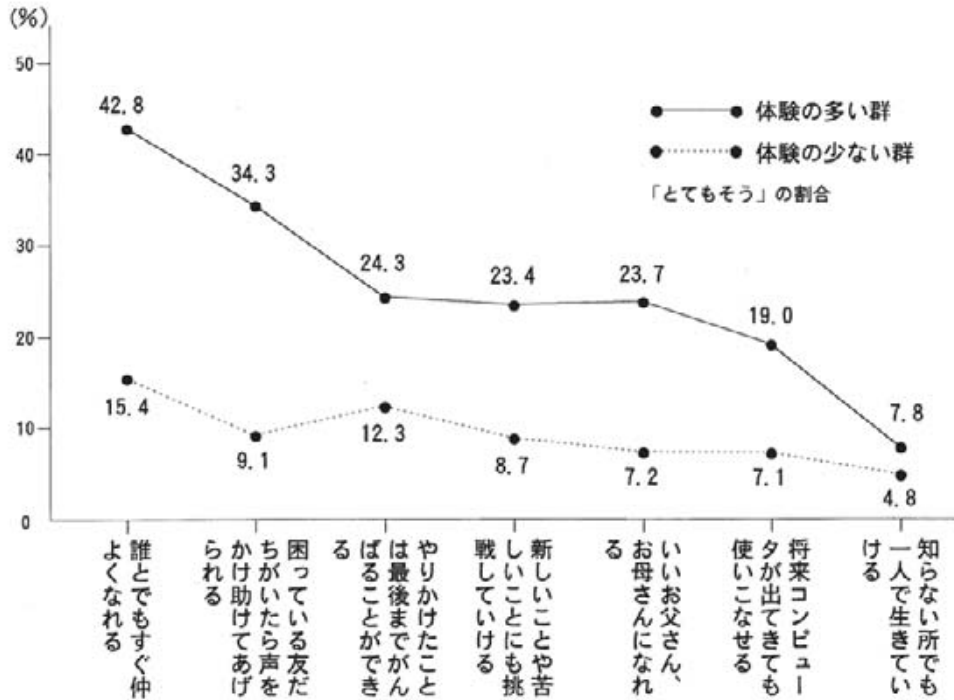


図18 自己像 × 遊びの体験量

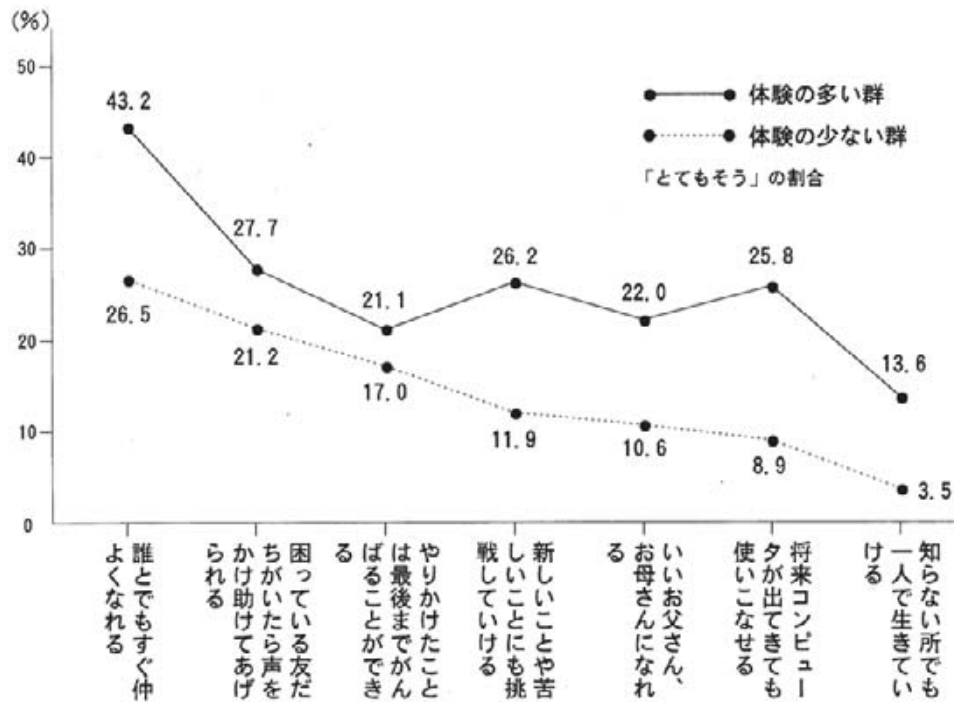


図19 自己像 × 自然の体験量

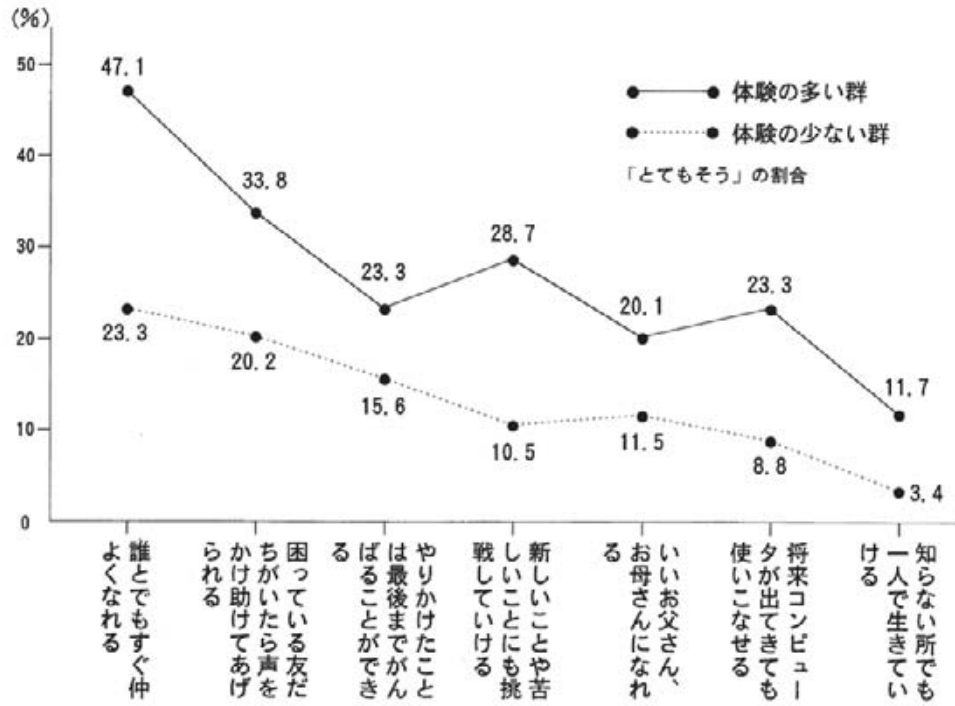


図20 自己像 × お手伝いの体験量

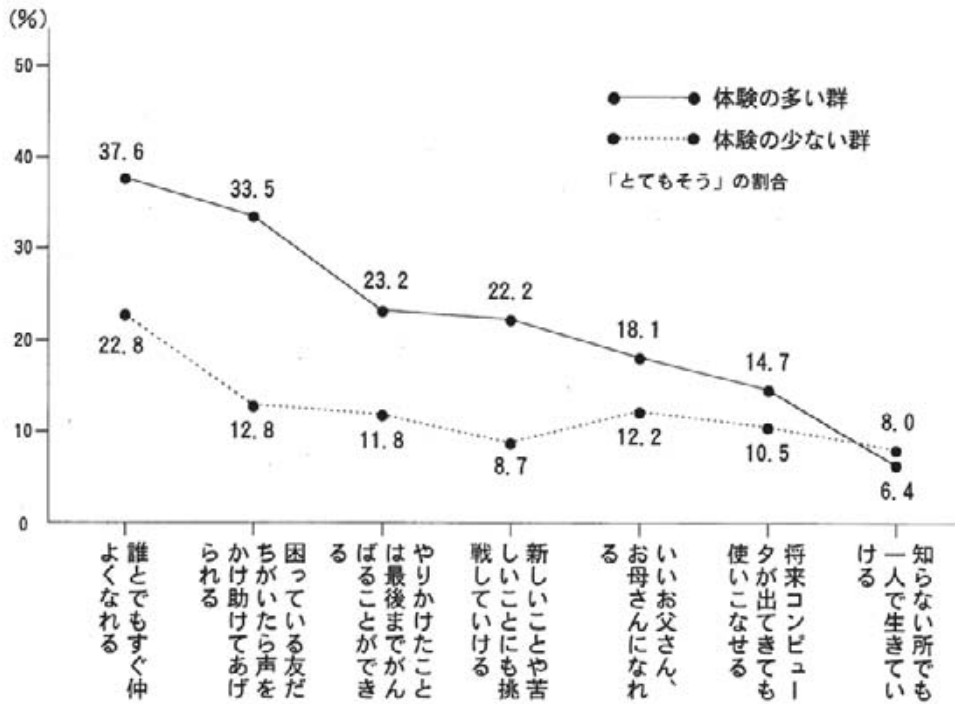
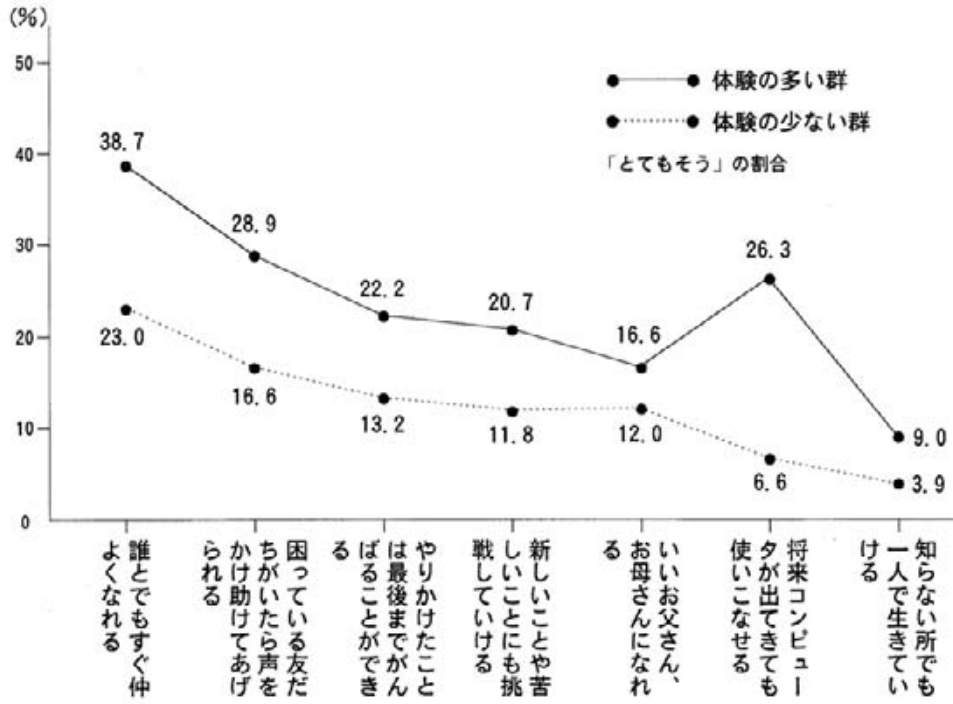


図21 自己像 × メカ・メディアの体験量



## ●体験と将来の職業や生活への希望))

さて、こうした子どもの頃の体験のありようは、おとなになってからの生活にも、影響を与えるものと思われる。

そこで次に、体験の量と子どもたちの「将来の職業への希望」との関係を示す表15を見てみよう。これまでと同様に「なりたい」の最大値に○、第2位に□を記してある。

「メカ・メディアの体験」の多い子どもたちが、「コンピュータ関係の仕事」を希望するのは、予想どおりといったところであるが、「外国に行ったり来たりするような職業」の人氣も高いのがわかる。「動物を飼ったり世話をする仕事」をやりたいのは、「お手伝い」や「遊び」の体験の多いグループに占める割合が高く、また、「お年寄りや体の不自由な人の世話をする仕事」を希望する者は、「人間関係」や「お手伝い」の体験が多いグループに占める割合が高い。そして、「農業」をやりたいのは、「遊び」や「自然」の体験が多い子どもたちである。体験と職業を短絡的に結びつけることはさけねばならないが、興味深いデータといえよう。

さらに、表16には、「将来の生活への希望」と体験量との関係を示した。やはり「とてもそう思う」の最大値に○、第2位に□を記してある。

「きれいな自然の多い田舎で暮らしたい」「自分のやりたい仕事をバリバリやりたい」と考える者はともに、「自然の体験」の多いグループに占める割合が最も高く、その半数

が「とてもそう思う」と答えている。また、「便利な都会で暮らしたい」「外国で暮らしたい」では、ともに「メカ・メディアの体験」の多いグループが第1位となる。自然に親しんで育った子どもは、自然を求め、メカ・メディアに強い子は、時代の先端や未知のものを求めるのであろうか。

また、「今住んでいる所で暮らしたい」という項目では、「人間関係の体験」の多い子どもたちが「とてもそう思う」と答えている割合が最も多く、3割となる。このことは、よい人間関係の中で成長している証明でもあり、ホッとさせられるデータといえよう。

しめくくり、将来の生活への希望と体験量との関係を領域別にグラフで示したのが、図22から図27である。

先の表16でもみたように、「人間関係」(図23)と「自然」(図25)の体験において、とりわけ「きれいな自然の多い田舎で暮らしたい」と「自分のやりたい仕事をバリバリやりたい」で、体験の「多い群」が「少ない群」を大きく上回っているのが明瞭に示されている。

また、「便利な都会で暮らしたい」については、「メカ・メディアの体験」(図27)以外の領域では、体験の「多い群」と「少ない群」の差がほとんどなく、「自然」(図25)と「お手伝い」(図26)の体験では、「少ない群」のほうがわずかではあるが「多い群」を上回っていることがわかる。

表15 将来の職業 × 体験量

|                         | 生活の体験    |          |         | 人間関係の体験  |          |         | 遊びの体験    |          |         | 自然の体験    |          |         | お手伝いの体験  |          |         | メカ・メディアの体験 |          |         |
|-------------------------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|------------|----------|---------|
|                         | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群 | ふつう<br>群 | 多い<br>群 | 少ない<br>群   | ふつう<br>群 | 多い<br>群 |
| 動物を飼ったり世話を<br>する仕事      | 25.8     | 27.4     | 32.2    | 21.4     | 29.9     | 30.8    | 25.3     | 30.6     | 34.7    | 24.8     | 29.8     | 34.3    | 23.8     | 25.9     | 36.1    | 26.8       | 29.5     | 31.5    |
|                         | 17.5     | 20.9     | 21.7    | 17.9     | 20.9     | 22.6    | 21.5     | 20.8     | 19.5    | 20.9     | 21.1     | 19.7    | 20.3     | 21.0     | 21.1    | 23.8       | 20.4     | 19.1    |
|                         | 56.7     | 51.7     | 46.1    | 60.7     | 49.2     | 46.6    | 53.2     | 48.6     | 45.8    | 54.3     | 49.1     | 46.0    | 55.9     | 53.1     | 42.8    | 49.4       | 50.1     | 49.4    |
| コンピュータ関係<br>の仕事         | 19.6     | 15.8     | 22.0    | 16.6     | 18.5     | 20.3    | 15.8     | 19.9     | 22.6    | 16.1     | 18.4     | 24.6    | 18.1     | 16.6     | 21.6    | 11.9       | 17.1     | 35.5    |
|                         | 21.6     | 25.4     | 23.9    | 23.7     | 24.2     | 26.4    | 24.7     | 24.5     | 22.6    | 28.0     | 22.5     | 25.7    | 20.6     | 25.5     | 25.1    | 23.9       | 25.4     | 23.4    |
|                         | 58.8     | 58.8     | 54.1    | 59.7     | 57.3     | 53.3    | 59.5     | 55.6     | 54.8    | 55.9     | 59.1     | 49.7    | 61.3     | 57.9     | 53.3    | 64.2       | 57.5     | 41.1    |
| 外国に行ったり職業<br>たりするようない職業 | 12.5     | 14.9     | 18.9    | 11.1     | 17.0     | 17.8    | 14.5     | 17.4     | 19.5    | 15.1     | 16.5     | 19.9    | 11.2     | 15.0     | 20.9    | 10.3       | 15.5     | 30.8    |
|                         | 13.5     | 19.0     | 16.7    | 15.9     | 18.1     | 18.0    | 18.2     | 18.0     | 14.2    | 18.0     | 17.7     | 15.5    | 17.5     | 18.3     | 16.8    | 16.4       | 18.7     | 18.2    |
|                         | 74.0     | 66.1     | 64.4    | 73.0     | 64.9     | 64.2    | 67.3     | 64.6     | 66.3    | 66.9     | 65.8     | 64.6    | 71.3     | 66.7     | 62.3    | 73.3       | 65.8     | 51.0    |
| 医者                      | 12.4     | 10.1     | 15.4    | 6.0      | 13.4     | 14.1    | 10.6     | 13.5     | 15.8    | 9.7      | 12.6     | 19.2    | 7.7      | 11.5     | 16.5    | 9.0        | 13.1     | 17.2    |
|                         | 11.3     | 17.5     | 17.1    | 12.7     | 17.3     | 19.7    | 16.9     | 17.2     | 15.3    | 18.0     | 16.5     | 17.0    | 16.4     | 15.7     | 19.6    | 13.4       | 17.9     | 21.4    |
|                         | 76.3     | 72.4     | 67.5    | 81.3     | 69.3     | 66.2    | 72.5     | 69.3     | 68.9    | 72.3     | 70.9     | 63.8    | 75.9     | 72.8     | 63.9    | 77.6       | 69.0     | 61.4    |



(%)

|                                    | 生活の体験 |      |      | 人間関係の体験 |      |      | 遊びの体験 |      |      | 自然の体験 |      |      | お手伝いの体験 |      |      | メカ・メディアの体験 |      |      |
|------------------------------------|-------|------|------|---------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|---------|------|------|------------|------|------|
|                                    | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群       | ふつう群 | 多い群  |
| サラリーマン                             | 8.2   | 11.7 | 13.0 | 18.7    | 11.3 | 10.8 | 8.6   | 13.4 | 18.4 | 8.3   | 13.0 | 15.9 | 14.2    | 11.3 | 12.8 | 12.1       | 11.5 | 12.7 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 13.4  | 11.6 | 9.7  | 13.9    | 10.4 | 10.8 | 10.0  | 11.1 | 13.2 | 11.7  | 9.8  | 13.4 | 11.8    | 11.2 | 10.0 | 11.4       | 10.8 | 10.1 |
| お年寄りや体の不自由な人の世話を<br>する仕事           | 78.4  | 76.7 | 77.3 | 67.4    | 78.3 | 78.4 | 81.4  | 75.5 | 68.4 | 80.0  | 77.2 | 70.7 | 74.0    | 77.5 | 77.2 | 76.5       | 77.7 | 77.2 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 10.3  | 10.8 | 13.2 | 4.4     | 11.7 | 17.5 | 11.2  | 12.1 | 12.2 | 10.5  | 11.8 | 14.9 | 5.6     | 9.8  | 17.3 | 10.3       | 12.0 | 13.2 |
| タレントや歌手                            | 18.6  | 23.4 | 25.8 | 13.1    | 25.1 | 27.3 | 23.2  | 24.7 | 23.3 | 21.7  | 24.7 | 25.4 | 17.1    | 22.9 | 29.2 | 20.6       | 25.2 | 27.3 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 71.1  | 65.8 | 61.0 | 82.5    | 63.2 | 55.2 | 65.6  | 63.2 | 64.5 | 67.8  | 63.5 | 59.7 | 77.3    | 67.3 | 53.5 | 69.1       | 62.8 | 59.5 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 5.2   | 7.6  | 8.4  | 4.8     | 7.0  | 12.6 | 7.4   | 7.8  | 9.9  | 6.8   | 7.6  | 11.6 | 6.9     | 6.7  | 10.1 | 5.6        | 8.2  | 10.7 |
| 農業                                 | 14.4  | 17.1 | 17.7 | 14.7    | 17.2 | 18.7 | 15.6  | 17.5 | 19.4 | 15.1  | 17.9 | 18.5 | 13.5    | 17.0 | 19.2 | 15.1       | 18.0 | 19.4 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 80.4  | 75.3 | 73.9 | 80.5    | 75.8 | 68.7 | 77.0  | 74.7 | 70.7 | 78.1  | 74.5 | 69.9 | 79.6    | 76.3 | 70.7 | 79.3       | 73.8 | 69.9 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 8.2   | 6.8  | 9.3  | 4.0     | 7.2  | 12.0 | 5.4   | 8.1  | 16.0 | 4.4   | 8.0  | 14.7 | 6.6     | 6.3  | 10.7 | 7.6        | 8.0  | 7.1  |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 7.2   | 10.5 | 14.2 | 10.3    | 12.0 | 11.7 | 8.7   | 13.6 | 12.8 | 10.7  | 11.4 | 15.4 | 9.1     | 11.7 | 13.2 | 11.1       | 11.5 | 14.1 |
| なりたい<br>なりたいが<br>なれそうにない<br>なりたくない | 84.6  | 82.7 | 76.5 | 85.7    | 80.8 | 76.3 | 85.9  | 78.3 | 71.2 | 84.9  | 80.6 | 69.9 | 84.3    | 82.0 | 76.1 | 81.3       | 80.5 | 78.8 |

○ は「なりたい」の最大値  
 ⊙ は「なりたい」の第2位  
 ⊖ は「なりたくない」の最大値  
 ⊕ は「なりたくない」の第2位

表16 将来の生活 × 体験量

|                    | 生活の体験 |      |      | 人間関係の体験 |      |      | 遊びの体験 |      |      | 自然の体験 |      |      | お手伝いの体験 |      |      | メカ・メディアの体験 |      |      |
|--------------------|-------|------|------|---------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|---------|------|------|------------|------|------|
|                    | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群  | 少ない群    | ふつう群 | 多い群  | 少ない群       | ふつう群 | 多い群  |
| きれいな自然の多い田舎で暮らしたい  | 30.9  | 35.0 | 44.6 | 25.4    | 37.9 | 50.0 | 33.8  | 40.1 | 51.6 | 32.5  | 38.3 | 52.2 | 33.7    | 35.4 | 46.4 | 34.9       | 39.0 | 44.6 |
|                    | 36.1  | 40.9 | 36.5 | 42.9    | 39.9 | 33.0 | 40.3  | 38.9 | 32.1 | 40.9  | 40.4 | 27.9 | 35.7    | 40.5 | 37.4 | 40.7       | 39.5 | 32.9 |
|                    | 23.7  | 18.8 | 13.2 | 24.2    | 16.3 | 13.1 | 19.4  | 15.9 | 10.5 | 19.8  | 16.1 | 14.1 | 18.1    | 19.2 | 11.7 | 17.2       | 17.1 | 15.2 |
|                    | 9.3   | 5.3  | 5.7  | 7.5     | 5.9  | 3.9  | 6.5   | 5.1  | 5.8  | 6.8   | 5.2  | 5.8  | 12.5    | 4.9  | 4.5  | 7.2        | 4.4  | 7.3  |
| 自分のやりたい仕事をバリバリやりたい | 26.8  | 32.0 | 40.4 | 24.1    | 35.3 | 43.2 | 32.0  | 36.5 | 45.3 | 30.2  | 34.8 | 50.0 | 26.7    | 34.5 | 41.0 | 29.5       | 35.4 | 46.2 |
|                    | 40.2  | 35.9 | 34.1 | 35.9    | 36.1 | 31.7 | 37.5  | 34.6 | 30.0 | 36.8  | 36.7 | 24.3 | 33.1    | 36.5 | 33.9 | 35.0       | 36.8 | 30.0 |
|                    | 20.6  | 25.0 | 20.2 | 28.5    | 22.9 | 18.5 | 24.6  | 22.2 | 15.8 | 25.0  | 22.5 | 18.8 | 27.4    | 23.3 | 19.7 | 27.5       | 21.6 | 18.2 |
|                    | 12.4  | 7.1  | 5.3  | 11.5    | 5.7  | 6.6  | 5.9   | 6.7  | 8.9  | 8.0   | 6.0  | 6.9  | 12.8    | 5.7  | 5.4  | 8.0        | 6.2  | 5.6  |
| 今住んでいる所で暮らしたい      | 22.9  | 25.2 | 25.2 | 19.0    | 24.2 | 32.3 | 20.8  | 27.1 | 29.5 | 20.6  | 26.2 | 30.5 | 26.0    | 22.2 | 28.9 | 26.1       | 24.2 | 25.3 |
|                    | 37.6  | 34.6 | 33.4 | 34.7    | 34.6 | 31.4 | 34.7  | 34.3 | 28.4 | 36.9  | 33.9 | 28.6 | 32.0    | 35.5 | 33.0 | 35.2       | 34.5 | 30.9 |
|                    | 26.0  | 27.0 | 22.9 | 28.9    | 26.5 | 20.2 | 28.9  | 24.1 | 22.6 | 28.1  | 25.0 | 22.1 | 22.6    | 27.6 | 23.6 | 25.2       | 26.2 | 23.3 |
|                    | 13.5  | 13.2 | 18.5 | 17.4    | 14.7 | 16.1 | 15.6  | 14.5 | 19.5 | 14.4  | 14.9 | 18.8 | 19.4    | 14.7 | 14.5 | 13.5       | 15.1 | 20.5 |

(%)

|            | 生活の体験 |      | 人間関係の体験 |      | 遊びの体験 |      | 自然の体験 |      | お手伝いの体験 |      | メカ・メディアの体験 |      |      |      |      |      |      |      |
|------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|------|---------|------|------------|------|------|------|------|------|------|------|
|            | 少ない群  | ふつう群 | 多い群     | 少ない群 | ふつう群  | 多い群  | 少ない群  | ふつう群 | 多い群     | 少ない群 | ふつう群       | 多い群  |      |      |      |      |      |      |
| 便利な都会で暮らした | 11.6  | 13.3 | 15.2    | 15.5 | 13.1  | 15.6 | 13.0  | 14.3 | 13.8    | 16.9 | 12.4       | 14.5 | 16.4 | 13.0 | 14.5 | 8.5  | 15.1 | 19.9 |
|            | 36.8  | 37.3 | 34.7    | 36.1 | 37.6  | 31.4 | 38.9  | 35.4 | 32.3    | 39.7 | 36.2       | 28.3 | 31.0 | 38.9 | 34.3 | 37.4 | 35.5 | 37.1 |
|            | 29.5  | 34.2 | 31.0    | 32.1 | 33.4  | 31.1 | 32.3  | 33.7 | 28.0    | 30.5 | 34.3       | 31.1 | 34.5 | 33.3 | 31.1 | 33.7 | 33.6 | 28.4 |
|            | 22.1  | 15.2 | 19.1    | 16.3 | 15.9  | 21.9 | 15.8  | 16.6 | 25.9    | 12.9 | 17.1       | 26.1 | 18.1 | 14.8 | 20.1 | 20.4 | 15.8 | 14.6 |
| 外国で暮らした    | 6.2   | 10.4 | 14.6    | 6.7  | 11.3  | 17.9 | 8.2   | 13.7 | 17.5    | 8.7  | 12.7       | 16.8 | 12.2 | 10.4 | 14.6 | 7.9  | 11.5 | 21.5 |
|            | 17.5  | 17.5 | 21.9    | 18.6 | 19.4  | 19.9 | 19.3  | 19.2 | 18.0    | 18.2 | 19.1       | 21.5 | 13.9 | 20.4 | 19.5 | 13.5 | 21.1 | 22.6 |
|            | 32.0  | 25.2 | 23.9    | 29.6 | 25.2  | 19.7 | 28.1  | 23.6 | 20.6    | 26.2 | 24.8       | 21.9 | 25.7 | 24.8 | 24.4 | 26.6 | 24.5 | 24.0 |
|            | 44.3  | 46.9 | 39.6    | 45.1 | 44.1  | 42.5 | 44.4  | 43.5 | 43.9    | 46.9 | 43.4       | 39.8 | 48.2 | 44.4 | 41.5 | 52.0 | 42.9 | 31.9 |

○ は「とても思う」の最大値  
 ○ は「とても思う」の第2位  
 — は「ぜんぜんそう思わない」の最大値  
 — は「ぜんぜんそう思わない」の第2位

図22 将来の生活 × 生活の体験量

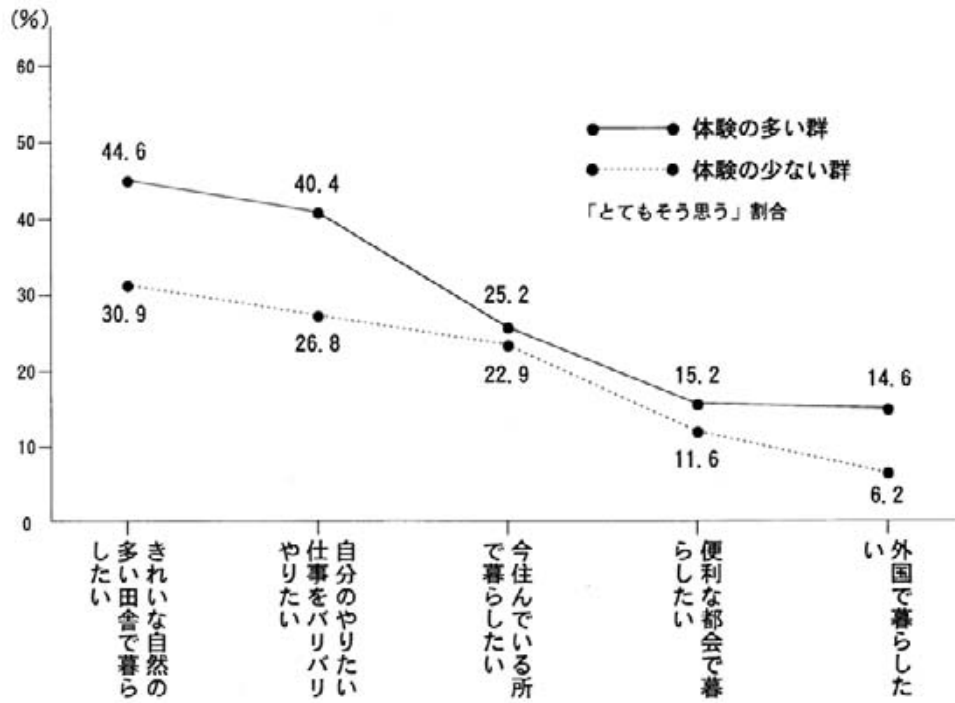


図23 将来の生活 × 人間関係の体験量

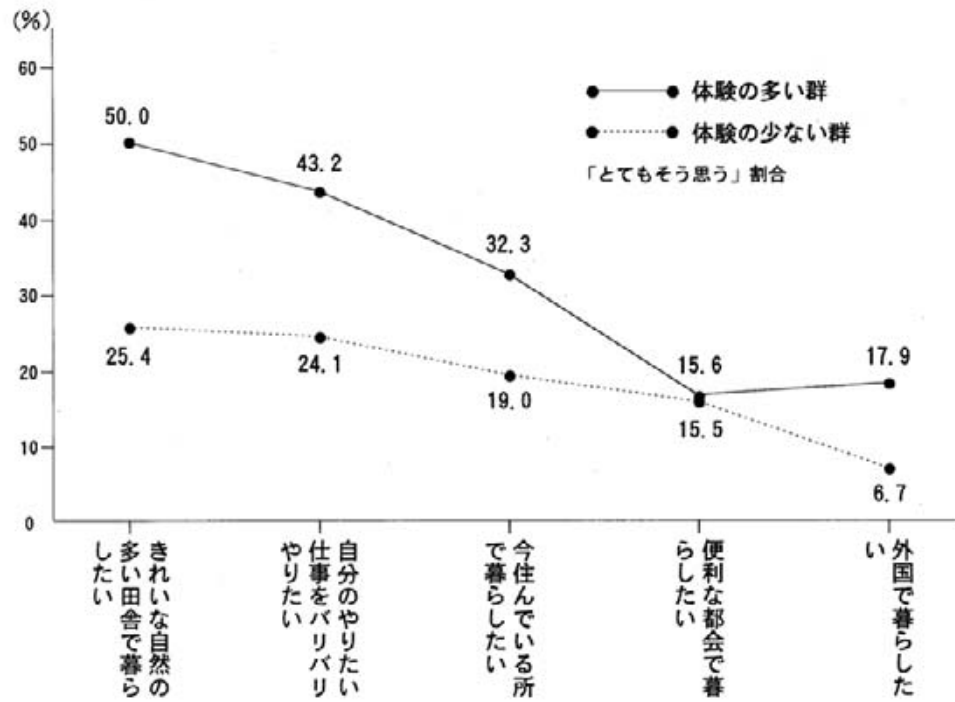


図24 将来の生活 × 遊びの体験量

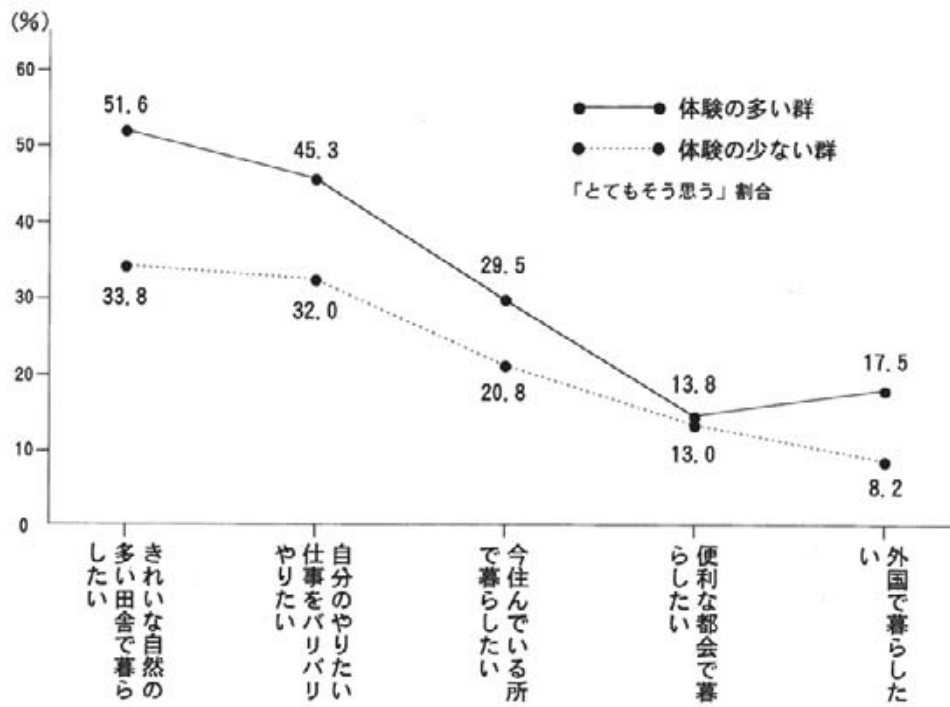


図25 将来の生活 × 自然の体験量

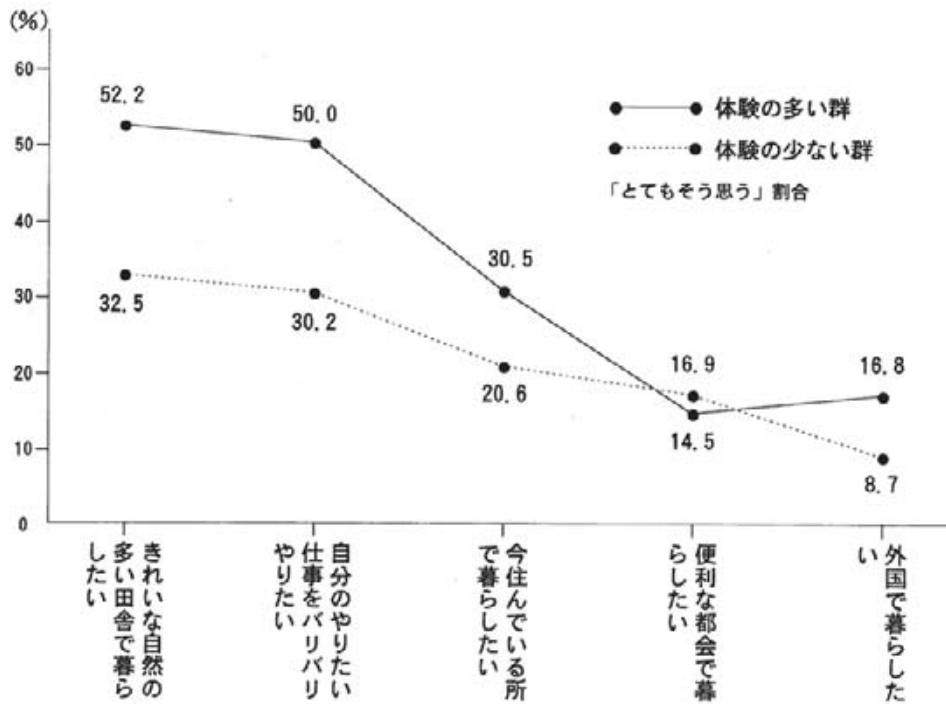




図26 将来の生活 × お手伝いの体験量

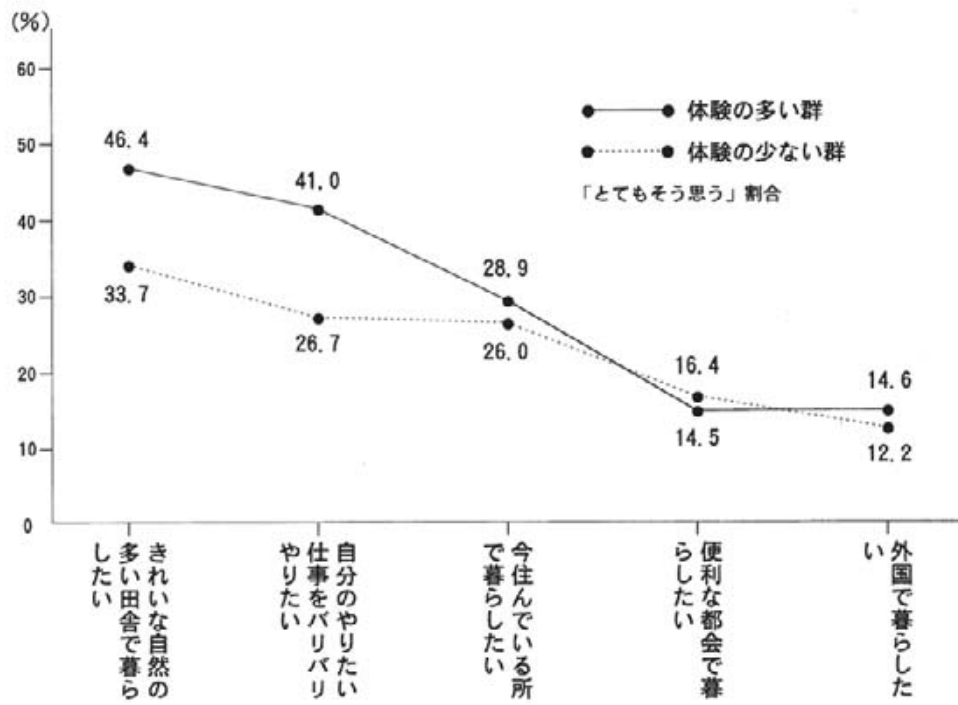
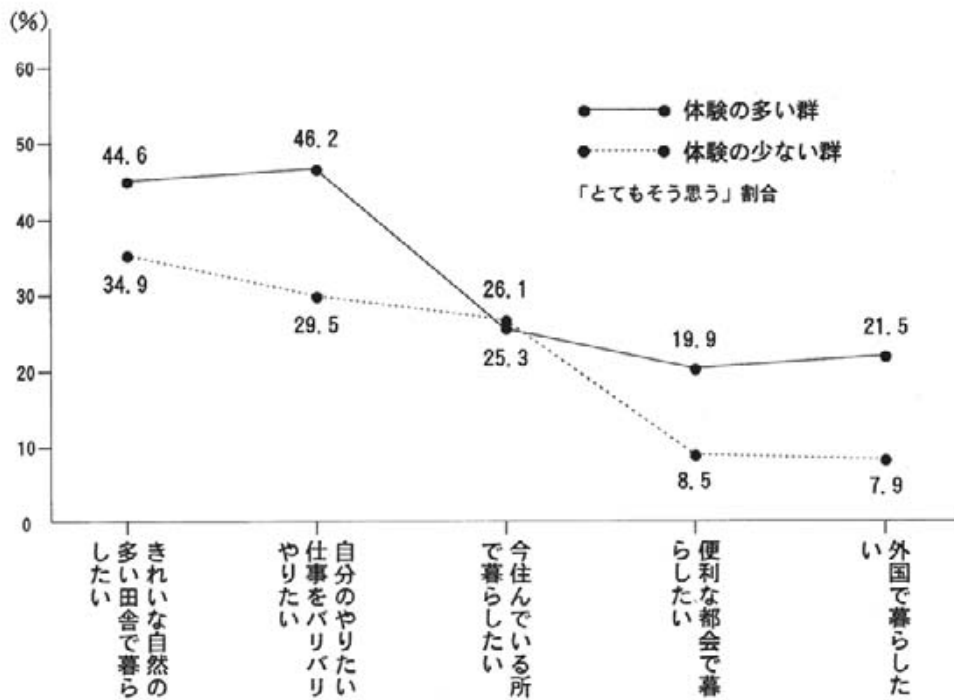


図27 将来の生活 × メカ・メディアの体験量



## ●まとめに代えて)))

さて、これまで、体験が子どもの情緒面や自己像に与える影響、あるいは、体験と将来の職業や生活の希望について検討してきた。調査結果を振り返ると、どんな体験をどのくらいするかによって、大きな差が生じることに改めて驚かされる。

けれども、ここで見落としとしてはならないのは、今回、私たちが設定した体験の諸領域は、子どもの体験を網羅的に考察するために、経験的に作り上げたものであったということである。

実生活の中では、1つの体験が独立して存在するのではなく、ある体験が様々な別の体験の要素を合わせもつのがふつうである。したがって、ある体験の多い子どもは、それに関連する別の体験、あるいは次の体験へ導かれる契機をたくさんもっていることが予想される。

そこで表17をみていただきたい。この表は、ある領域の体験をもつ子どもが、別の領域の体験をどの程度もっているかを検討しようとしたものである。ここでは、これまでの考察から、子どもにとって大きな意味をもっていた「人間関係の体験」について見てみよう。

「人間関係の体験」の「多い群」は、「人間関係の体験」の1つである「赤ちゃんを抱いたこと」が94.0%と多いのは当然であるが、他の体験領域、例えば、「遊びの体験」の「真っ暗になるまで遊んだ」、「自然の体験」の「木になっている果物をとる」などの体験も、「少ない群」よりも、かなり多いことが読み取れる。

同様に他の領域もみていくと、ある領域で体験の豊かなグループは、それ以外の領域でも、少ないグループのおよそ2倍の割合で多く体験していることがわかる。

なにかに積極的な子どもは、ほかのことす

べてにわたって興味を抱いたり、活動的であるという傾向はあるにせよ、体験が子どもの活動範囲や興味の対象を広げたり、自信をもたせたりするのもまた事実であろう。体験の領域に着目するとともに、体験の総量をどう増やしていくかということが大切になってくると思われる。

それでは、どうすれば、子どもたちに豊かな体験を保障できるのでしょうか。

その手がかりとして、表18に、家族との接触と子どもの体験量の関係について、若干のデータをまとめてみた。

この表からは、日曜日に家族で外出したり、ゲームをしたり、夏休みに父親がどこかに連れていってくれたりする子どもたちは、6つの領域のいずれにおいても、体験の多いグループに、よりたくさんみられるのがわかる。

とりわけ、「よく日曜日に家族で出かける」のは「メカ・メディアの体験」と「自然の体験」、「家族でゲームをする」は「遊びの体験」と「メカ・メディアの体験」、「長期休みに父親がどこかに連れていってくれる」のは「自然の体験」と「メカ・メディアの体験」の「多い群」の子どもたちである。

これらの結果からは、余暇での家族の接触量が多いほど、子どもの体験量も多いように思われる。子どもの体験を豊かにするために、家族や家庭の果たす役割はやはり重要であるといえよう。

社会環境の変化につれ、子どもの体験のありようも変化するのが、当然といえば当然である。昔ながらの体験が少なくなってきたことをいわずらに嘆くのではなく、子どもたちに豊かな体験をどう保障できるかを考えたい。

現代っ子は、外遊びをしなくなったといわれるが、外で遊ぼうと思えば、できるわけである。パソコンがやりたければ、自室にパソ

コンを置くことも、国際人を夢みて、海外にホームステイをすることも、現実の選択肢の1つになった。現代社会は、子どもたちが多様な体験を主体的に選択できる可能性を秘め

ているといえよう。それだけに、子どもを取りまく環境をどう整備するか、子どもをどう見守っていくかが、これからの課題ではないだろうか。

表17 体験 × 体験群

|                               | 生活の体験 |      | 人間関係の体験 |      | 遊びの体験 |      | 自然の体験 |      | お手伝いの体験 |      | メカ・メディアの体験 |      |
|-------------------------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|------|---------|------|------------|------|
|                               | 多い群   | 少ない群 | 多い群     | 少ない群 | 多い群   | 少ない群 | 多い群   | 少ない群 | 多い群     | 少ない群 | 多い群        | 少ない群 |
| 1. 生活の体験<br>(かなづちでクギを打つ)      | 97.2  | 16.4 | 86.4    | 64.8 | 94.2  | 69.1 | 94.9  | 62.9 | 86.0    | 70.7 | 86.8       | 67.8 |
| 2. 人間関係の体験<br>(赤ちゃんを抱いた)      | 63.7  | 28.5 | 94.0    | 2.8  | 64.9  | 43.4 | 68.1  | 38.1 | 69.4    | 30.4 | 66.7       | 38.0 |
| 3. 遊びの体験<br>(真っ暗になるまで遊んだ)     | 37.3  | 17.3 | 43.8    | 24.6 | 81.1  | 6.8  | 52.7  | 15.3 | 34.6    | 31.5 | 42.8       | 25.5 |
| 4. 自然の体験<br>(木になっている果物をとる)    | 34.7  | 13.2 | 41.1    | 8.0  | 54.2  | 14.0 | 67.2  | 2.7  | 34.3    | 13.2 | 40.8       | 16.1 |
| 5. お手伝いの体験<br>(ぞうきんで掃除をする)    | 73.4  | 38.8 | 79.8    | 38.1 | 74.4  | 53.7 | 78.7  | 47.1 | 90.9    | 11.8 | 75.1       | 47.1 |
| 6. メカ・メディアの体験<br>(ワープロで文章を打つ) | 43.7  | 21.5 | 44.4    | 26.2 | 43.4  | 31.3 | 48.5  | 28.4 | 47.7    | 22.6 | 87.1       | 5.4  |

「何回も+わりと」ある割合

表18 家族との接触 × 体験群

(%)

|                          | 生活の体験 |      | 人間関係の体験 |      | 遊びの体験 |      | 自然の体験 |      | お手伝いの体験 |      | メカ・メディアの体験 |      |
|--------------------------|-------|------|---------|------|-------|------|-------|------|---------|------|------------|------|
|                          | 多い群   | 少ない群 | 多い群     | 少ない群 | 多い群   | 少ない群 | 多い群   | 少ない群 | 多い群     | 少ない群 | 多い群        | 少ない群 |
| 1. 日曜日に家族で出かける           | 23.8  | 17.5 | 27.5    | 16.2 | 26.8  | 19.9 | 28.5  | 17.1 | 26.5    | 15.9 | 30.6       | 17.8 |
| 2. 家族でゲームをする             | 10.9  | 5.2  | 14.8    | 4.4  | 18.9  | 7.3  | 15.9  | 4.2  | 13.1    | 4.9  | 17.1       | 7.0  |
| 3. 長期休みに父親がどこかに連れていってくれる | 40.5  | 33.0 | 44.7    | 26.2 | 44.2  | 33.7 | 50.5  | 29.1 | 43.3    | 34.3 | 49.2       | 31.8 |

「とても+少し」その割合